

高寄心風
郵告視察功程

上

函	三册	第十類
---	----	-----

国立公文書館

分類

排架番号

2 A

33-6

(単) 361

目錄

第一卷

一 工事

三冊

第二卷

一 農事

三冊

第三卷

一 稅法

一冊

一 兌銀鋪略說

一冊

一 稅關規則

一冊

一 華盛頓府勸農局制度及費額大略

一冊

三等議官高崎正風

教師シヤエー氏講説
工 事

工

太 西 官

トラボーピユブリツク公工ノ大意

トラボーピユブリツクハ全國人民ノ便益ノ為ニ政府ヨリ創營スル所ノ公工ニシテ第一都府ヨリ都府ニ通スル大道運漕河鑛路城砦等ナリ第二州ヨリ州ニ通スル大路裁判所ノ建築等ナリ第三邑路小學校等ノ造營ナリ

巴理府ニ公工事務省ヲ設ケ全國ノ工部ヲ總括セシム然ル公工ニシテ此省ノ管掌ヲ受ス建營修繕スル者アリ即チ城砦武庫及ヒ銃砲兵器ノ製造所等ノ如キハ陸軍省之ヲ掌リ海軍港海岸ノ砲礮造船塲等ハ海軍省ノ所轄ナリ其他學校寺院僧堂ハ教育省ニ屬シ獄舎及ヒ州廳電信局等内國省ニ附ス又タ會計省ニ於テ烟草ノ製造所火藥製造所ヲ所轄ス

佛蘭西ニ於テ烟草ノ製造ヲ人民ニ許サス國中ニ産ス

ル所ノ烟草ハ悉ク買収シ政府ニ於テ之ヲ製造シテ發賣ス會計ハ租税ヲ主掌ス烟草ハ最モ高税ノ品物ナリ故ニ烟草製造所ハ此省ニ於テ管掌セリ

農商事務省ハ家畜医校牧羊場牧馬場術藝學校見本ヲ備温泉場ヲ掌リ公工事務省ハ道路橋梁運漕河錢路商港開墾脫水術灌漑術乾治術等ノ構造ハチヤンシウキールヲ管セリ

公工事務省ハ構造ニ關スル働キニ於テ建築師ヲ所轄シ道路橋梁ノ公工ノ為ニハ道路橋梁家ヲ管掌セリ此二吏ハ諸科學校中ノ最モ卓越セシ生徒ヨリ撰挙セリ

建築師ハアルシラツクエコールデーサアルエメケエノ検査ヲ受シ者ニ非サレハ之ニ任セス新鑿鐵路燈明臺等ノアルシラツクハボレエシヨースエー橋梁道路ノ學

校ヨリ撰擢ス

エコールポネエシヨースエーハ諸工藝ヲ研究スル學校ナリ故ニ公工事務執政ノ所轄タリエコールポネエニツク術藝學校ヨリエコールポネエシヨースエー道路橋梁學校ニハル者ハ先ツアンゼニエールニ奉ケラレ夫ヨリアンゼニエールアンゼーフアンスパクトールゼ子ロト順ヲ逐テ昇級ス

監督長アンスパクトールゼ子ローハ十五員アリ佛全國ヲ十五ノ監督部ニ分割シ一ノ監督長一ノ監督部ヲ所轄シ各他部ニ關スルヲナシ若シ自己ノ部内ニ公工等ノ事起レハ則チ就テ之ヲ監視シ且ツアンゼニエールノ簿冊ヲ監閱スヘシ

監督長ハ公工省中ニ於テ道路橋梁ノ會議ヲ起シ執政之

力會長トナル此會議ハアンゼニエールニ依テ草創セル
公ノ圖面及ヒ草案又ハ紙テ街上ニ於テ各ノ所有ヲ陳
述セシムルヲ要ス

執政ハ會長トナリテ其律ニ臨ムト雖モ自己ノ考ヲ述
ルニ非ス唯監督長ノ論議ヲ聞テ其可否ヲ決定用捨ス
ルノミ

監督長ノ下ニアンゼニエールアンゼーフ及ヒアンゼニ
エールアリ一州毎ニ設置セリ一ノアンゼニエールアン
ゼーフ各ノ數員ノアンゼニエールヲ所轄シ恒ニ之カ監
督ヲナスニ吏共ニ常ノ事務ヲ委任セリ常ノ事務ハ即
チ道路橋梁ノ造築及ヒ車ノ警保或ハ大道ノ規則ニ違背
スル者ヲ監證ス其他ニ格致ナル事務ヲ任セラレタル同
官アリ即チ大川溝河ノ船艦通行ヲ注視シ若シ障礙ヲ生

スレハ則チ修理ヲ加フ

セーヌ河ノ上流ヨリ巴理斯ニ至ルマテヲ掌ル同官アリ之
ヲ四ツニ分割シテ所轄ス即チ巴理斯ニ一名アリ巴理斯ヨリ
コアンジノ間ニ一名アリコアンジヨリテアーブルノ間ニ一名
アリ各ノ數名ノ屬官ヲ所管セリ此佛國水流ノ邊ニハ必
ズ此官ヲ配置シ恒ニ注意シテ修營ヲ怠ルヲナカラシム
濯水術脫水術ヲ施ス處ニモ亦同官ヲ置キ商港及ヒ燈臺
等ニ掛ケ置ク所ノ同官アリ

又タ別段ニ鐵路ノ監督ヲ任セラレタル同官アリ

鐵路會社ヨリ鐵路開造ノ暗算ヲ立テ公工事務省ニ願
出シ許可ヲ請レハ則チ鐵路造營中此ノアンゼニエー
ルヲ遣ハシ監督セシム

又チ鐵路落成ノ後監督セシムルアンゼニエールアリ

始メ鐵路開造ノ願ヒ免許ヲ受ルハ種々ノ約束アリ故
ニ其約束ヲ確守セシメン為ニ造シ置クナリ此アンゼ
ニエールハ常ニ其所ニ任シ他ニ轉スルナシ
アンゼニエールハ鐵路ニ設置キ監督セシムルハ佛蘭
西ニ於テ太ク之ヲ緊要トス諭ハ此汽車ハ一日ニ幾回
往返シ何時ニ何地ヲ発シ何時ニ何地ニ着スルヤ始メ
ニ規則ヲ立ツ然ルニ後チ或ハ往返ノ度数ヲ増減シ或
ハ發着ノ時間ヲ交換スル等ノ事アレハ人民便益ノ為
ニ設ケシ鐵路却テ大不便トナリ随テ乘客モ減少シ自
然ニ衰微スヘシ此ノ如キノ件數ナキアリ故ニ約束ヲ
嚴ニスルハ鐵路第一ノ要務ナリ斯ノアンゼニエール
ヲ設ケ恒ニ監督セシム萬一違約ノ事アレハ人民之ヲ
アンゼニエールニ訴ヘアンゼニエール之ヲ本省ニ上

告シ直チニ法ニ依ラ之ヲ罰ス故ニ鐵路會社モ忽ニス
ル能ハス故ニ鐵路監督ノ官員ハ鐵路會社ニ於テ恒ニ
畏憚セラレ威權太ク盛ニナリ此アンゼニエールハ
俸ハ鐵路會社ヨリ官ニ收メ官ヨリ是ヲアンゼニエー
ルニ與フ

アンゼニエールハ下ニゴンジクトールポンエシヤウス
エハ道路橋梁頭取ト云モノアリ是レハ一ノ検査ヲ受テ
後此ノ稱号ヲ取ルナリ此外ニ又下吏アリ即チ江河堤
防燈臺等ノ番卒ナリ

ゴンジクトールハエコールボリテクニツクヨリ出タ
ル生徒ニ非ス恒ニアンゼニエールニ附属シテ雇夫同
様ニ使役セララルモノナリ
アンゼニエールハ數員ノ中ニ種々階級差等アリト雖

何モ獨斷ヲ以テ事ヲ行フノ權ヲ有スル者ナシ必ス本省執政ノ命令ヲ奉シ或ハ州知事ノ指揮ニ從テ事ヲ行フヘシ

一州中ノ工事ハ知事アンゼニエールアンゼーフニ商議シアンゼニエールアンゼーフ之ヲ屬下ニ議リ後ニ行フアリ

アンゼニエールハ公工省ノ官員ニシテ諸州ニ在留セルモノ本省ノ命ヲ奉スルハ勿論ナリト雖州中ノ工事ヲ作スニハ大抵知事ノ命ヲ受ヘシ

エコールポリツクニツクヨリ出テ善ク規則ヲ踏ミ約束ニ違ハサル者ハアンゼニエールノ生徒トナルヲ得道路橋梁ノ學校ニ三年入學シテ後第三等ノアンゼニエールニ昇リ又タ二年以上ヲ經テ第二等ノアンゼニエールニ

昇ル又タ三年ヲ經テ一等アンゼニエールニ昇ル
 アンゼニエールアンゼニエールハ第二等ノ監督長ニ昇ルニハ少クモ四年在職セサルハハ職ハス以上下官ヨリ高官ニ進ムニハ國長ノ命令ヲ以テ任セララル同職中ノ等級ヲ轉スルニハ執政ノ決定ヲ以テ之ヲ命ス

第一等 監督長	歲俸	一萬五千フランク
第二等 監督長	全上	一萬二千フランク
第一等 造築師長	全上	八千フランク
第二等 造築師長	全上	六千フランク
第一等 造築師	全上	四千五百フランク
第二等 造築師	全上	三千五百フランク
第三等 造築師	全上	二千五百フランク
造築師生徒	全上	千八百フランク

其他造築師ノ役宅料及ヒ薪炭諸費殊行ノ失費等ハ歳俸ノ外別ニ付與ス此費額ハ公工事務執政之ヲ決定ス
造築師ハ國ノ公工ノ外ニ州或ハ邑或ハ平人ノ請頼ニヨッテ工事ニ従事スルヲアリ其時ハ別ニ謝儀ヲ受クルノ權利ヲ有セリ

道路橋梁掛リノ官員退隱ノ年齒

造築師

六十歳

造築師長

六十一歳

第二等監督長

六十五歳

第一等監督長

七拾歳

造築師ハ國ノ事務ヲ假リニ辭シテ暇ヲ請フヲアリ即チ鐵路會社或ハ外國ニ雇ハルハ其ノ十リ然ルキハ官ヨリ無期ノ休暇ヲ與ヘテ官俸ヲ与ヘス

道路橋梁導吏 コンシクトールポンユシヨースエーハ四等ニ分

テリ四等ヨリ三等ニ昇ルニ二年間在職スハシ三等ヨリ二等ニ至ルモ亦二年間ヲ經テ二等ヨリ一等ニ進ムニハ三年ヲ經サレハ能ハス一等ヨリ導吏長ニ昇進スルニハ三年在職ノ後ナルヘシ
導吏ハ執政之ヲ命ス

導吏長

歳俸

二千八百フランク

第一等導吏

全上

二千四百フランク

第二等導吏

全上

二千百フランク

第三等導吏

全上

千八百フランク

第四等導吏

全上

千六百フランク

道路橋梁掛リノ人員ノ外ニ前ノ如ク昇進スル所ノ格段ナル人員アリ即チ諸科學校ニコールホルラクニツクヨリ出

タル生徒ニシテ組建モ前ニ同シ之ヲ鑛山社中ト云
鑛山ニミヌハ即チ石炭鐵鉛等ノ鑛類ヲ云ナリ是等ハ地
底ニアル者ニシテ表面ノ地主ニハ屬セサルモノナリ故
ニ國長ノ命令ナケレハ鑛リ出スヲ許サス然ルニ鑛山
ヲ鑛ルヲ願モノアレハ表面ノ地主ニテモ其他ノ願主
ニテモ成功ヲ遂グヘキ人物ヲ政府ニ於テ鑒定シテ之ヲ
免許ス

鑛山掛リノ人負ハ鑛山願人ニ探鑛ノ術ヲ教諭シ既ニ鑛
坑スレハ其鑛法及ヒ鑛夫ノ働キ及ヒ地主ノ妨害ニナル
ヤ否ヲ監視スルヲ要ス

鑛山掛リノ人負ノ組建ハ左ノ如シ

鑛山監督長ハ五名アリ佛國ヲ本部ニ分割シ一名一部ヲ
所管セリ此五名ノ監督長鑛山會議ヲ起ス執政會長トナ

リテ鑛山ニ關セル事件ヲ議セシム其下ニ鑛山師長及ヒ

鑛山師アルヲ前ニ異ナルヲナシ唯鑛山ハ其場所ナキ故

ニ人負モ亦減少ナリ

鑛山師ハ諸科學校ヲ出テ鑛山學校ニハリ三年學ヒシ者

ニ非サレハ此官ニ昇ルヲ得ス檢査ニヨツテ昇リ得ル下

吏ハ諸科學校ヨリ出タル者ニ非ス唯鑛山師ニ從ヒ使役
セラルル者ナリ

鐵道會議

此ノ會議ハ代議員コンスエーエデタル道路橋梁監督
長鑛山ノ監督長集會ス執政シレカ會長トナル其議スル
所ノ事件ハ鐵道圖面道ノ造築所用ノ材品車驛ノ場所取
締等ノ規則鐵路會社ト政府トノ約束ニ關スル事件等ナ
リ

此中道路橋梁ノ監督長ハ街上ノ事及ヒ地面取除キノ
事件ヲ擔當シテ議スハシ

燈明臺會議

海軍上等ノ士官橋梁監督長集會ス

蒸氣器械會議 已理斯ニ於テ之ヲ設ク

鑛山監督長ト蒸氣器械製造家トニ依テ結構スル所ノ會
議ナリ此ハ蒸氣器械破壊ニ因テ不慮ノ災殃アルヲ慮ル
故ニ政府此會ヲ設テ互ニ其可否得失ヲ陳述討論セシム
公工事務執政ハ州知事建築師監督長等ト會議シ公工
ノ事件ヲ決定シ輔佐ノ官員ト共ニ省中ノ事務ヲ施行ス
書記長官セクレッツラーニセテローハ省中諸官員ノ進退黜陟
ヲ掌リ恒ニ執政ニ代リテ花押ヲナスノ權ヲ有セリ

道路橋梁ノ長官ハ格改ニ鐵道橋梁ノ事件ヲ任當シ執政

ニ代リテ花押ヲナスノ權アリ此ノ兩官ノ下ニ多少ノ上
下官員アリ然レモ皆長官ノ指揮ヲ受ケ事務ヲ取行フ者
ニシテ特權ヲ有スル者ナシ

省中ヲハ寮ニ分ツ毎寮長官一名ヲ置テ總括セシム寮中
ニ多少ノ局ヲ設ク各局局長ヲ置テ一局ヲ總括セシム各
寮各局數名ノ官員ヲ附ス

ハ寮ハ即チ書記寮官員寮司計寮鑛山寮道路橋梁寮運漕
河寮鐵道二寮ナリ各寮之掌ノ事務アリテ他寮ニ関スル
ヲナシ

アントルプロノール請負人

請負人ト政府トノ約束ヲ「マアルシニ」ト云佛蘭西ニ於
テ請負人ト政府トノ約束ニ三種類アリ其概略ヲ左ニ記
ス

第一ハ豫シノ入費ノ定額ヲ算定シ落成ノ期限ヲ約ス而
シテ一度約定セシ上ハ其費額ヲ増減シ或ハ期限ヲ延
スルヲ許サス假令ハ一小室ト雖モ亦更ニ増営スルヲ能
ハスト凡ソ工事ヲ起ス時ニ至リ或ハ一小室ヲ増営セル
ニ大故ニ政府ト並ニ請負人ト無キ能ハス
第二政府ニ於テ工事ヲ起スニ豫シノ總計ヲ算シ工事落
成ノ後ニ所用ノ品材ヲ檢閲シ工事ノ難易ヲ觀察シ後ニ
定價ヲ拂フ
第三ハ政府ニテ工事ニ用ユヘキ所ノ材品ノ善悪ニヨリ
拂フ所ノ直ヒヲ定メ又修ムヘキ所ノ工事ノ豫算ヲ同時
ニ指示ス此ヲ「マアセルセー」アリユテードメヂユルト云
佛蘭西ニ於テハ大抵此三種ノ法ヲ用ユ
此約束ハ双方共ニ遵守スルヲ要ス請負人ハ此工事ヲ幾

何ノ金額ニテ受ケ何某ノ日月ヲ期シテ成就スヘキ由
ヲ記シ花押シテ本省ニ上呈シ本省ヨリ請負人受合シ金
額ヲ某月某日ニ還滯ナク拂ヒ與フヘキ由ヲ録シ花押シ
テ請負人ニ渡シ置クナリ請負人ハ執政ニ依テ定メラレ
タル定價規則ヲ遵守セサルハカラス
此定價規則ハ省中ニ於テ道路橋梁家ニ商議セシメテ
作ラシム所ナリ
此外ニ格段ナル規則アリ謂ハ一工事ヲ起スニ建築師ア
ンセニエールノ概算書ヲ示シ何某ノ金額ニテ請負人ヘキ
ヤ否ヲ請負人ニ問フ請負人ニテ受テ其概算書各カ附
算ニ合サレハ辭スルモ勿ケス故ニ一般ノ定價規則アレ
ハ之ヲ遵守スルハ當然ナリト雖モ實際ニ至ツテハ自然
定價規則ヲ踏ミ難キ事アリ是レ此ノ格段ノ規則ヲ設ル

所以ナリ

造築師ノ豫算書ニハ建築ノ模様及ヒ内外西部ニ用ユル
所ノ木石ノ材質ニ至ルマテ微細ニ記載ス故ニ請負人一
ツモ欠缺スル能ハス

約束ノ法種々ノ中ニ最モ肝要ナル事件ハ譬ハ一ノ新鑿
ヲナスニ其縦横及ヒ浅深ノ寸尺及ヒ職人雇夫ノ賃銭所
用ノ材質ハ何々ト迄ノ總費幾額ヲ拂ハンヲ約定ス之
ヲトワイト云^{証文}トワイトノ片面ニハ右ノ通り總費
ヲ記シ其片面ニハ詳密ノ算計ヲ載ス輸ハ山ヲ鑿技シ崩
壊ノ虞ナキ為ニ縦横何尺何寸ノ間ヲ煉化石或ハ石ヲ疊
ム其價ヒ何程某ノ石何箇某ノ木何本此價何程ト云類ヲ
悉ク記スヘシ

請負人及ヒ「ロシセツ」ヨリル「ロシス」ニアル

員ハ是ヲ以テ業トスル者甚タ多シ故ニ工事ヲ起スニ
ハ是等ノ人數名ヲ集メ銘々概算ヲ立シノ其内ノ最モ
廉價ナル者ニ免許ス

請負人ニ公エテ命スルハ政府其人ヲ撰拔シテ命スルニ
非ラス政府ヨリ其人ヲサシテ命スレハ必ス多少ノ嫌疑
ヲ生シ且ツ兎弊モ生シ易キ理アリ故ニ公エテ起サント
スルニハ其州ノ知事ニ命シ某月某日ニ「アジユ」ガツシ
ヨリ仕事ヲ與フル義ヲ行フ由ヲ記シ粘壁ニシテ普ク布
告ス其日州知事州會議員^{コンスエーエプ}フエク^{チー}ル及ヒ在
州ノ造築師長等集會シ請負人數名各封書ヲ携ヘ来リ會
議所ニ出ス其書中ニツノ約束アリ左件ノ如シ

第一ヶ条何某ハ幾計ノ工事ヲ擔當スルニ堪ヘキ由ヲ
記セリ但^但此^此一ヶ条^{一ヶ条}ハ自^自己^己ノ書^書付^付ニ^ニア^アラ^ラス大^大概^概

第二ヶ条此工事ニ擔當スルニハ記金 コシヨネスマン 何
額ヲ出シ置ヘキ由ヲ載ス

第三ヶ条幾何ノ金額ヲ以テ此工事ヲ請負スヘキ豫算
書ヲサス

請ハ三十人ノ請負人アレハ先ツ第一ヶ条ノ此工事ヲ成
遂スヘキ伎倆ノ有無ト携来スル所ノ記書ト是レマテノ
實効トニ照較シ檢察鑒定ス大抵此検査ニ於テ退ケラル
者多シ先ツ三十人中二十六人退ケラレシ者トナシ残
ル四人ノ請負金額ノ概算書ヲ檢閱シ政府ノ概算書ト以
較シ請ハハ政府ノ概算五萬フランクトシテ請負人ノ概
算一人ハ九萬フランクト一人ハ八萬フランクト又一人ハ五
萬五千フランクト又一人ハ三萬フランクトト高下四段アル
ハ政府必ス五萬五千フランクトノ者ニ免許ス

三萬フランクトノ下價ニ命セサル所以ハ政府ノ概算最
モ精密ニ涉リ少モ餘裕ナキ算計ナリ故ニ二萬フラン
クトヲ減損シ請負人ハキリ理ナシ若シ此者ニ命セハ工
ノ粗ナル必ス且是ヲ以テ命セサルナリ
既ニ其人選シハ知事之ヲ命シ定規ノ条件ヲ達示ス然レ
モ規則外ノ事件アルハ執政之ヲ命ス

請負人ヲ命スルニ此ノ如クスレハ二ノ益アリ一ハ知
事偏私ノ嫌疑ナク且ツ賄賂ノ患弊ヲ生セズ一ハ工事
ニ急ヲ注キ價直ヲ廉ニスヘシ

請負人一紙ノ約束書ヲ受取リ工事ヲ始ムルハ建築師
ニ其約束ヲ遵守スルヤ否ヲ監督スル故ニ一ツモ約束ヲ
變シエテ粗スル能ハス然レモ良モスレハ知事ヲ更ラシ
表面ニハ約束ノ本石ヲ用ヒ内部ニハ虚惠ノ林ヲ用ユル

等ノ事往々アリ此ノ如キ事件アレハ忽チ破却シ再築ヲ命ス

造築師若シ請負人ト合夥セハ如何ナル奸曲モ行ハルヘシ其防禦ハ如何ト問フシヤユエー氏曰ク道路橋梁師ノ社中ハ其風儀極ノラ心直ニシテ佛蘭西ニ於テ最モ高名ナリ此社中ハ大抵富貴ノ人多シ且ツ學問成熟品行善良ナル者ニ非サレハ此員ニ備ルヲ得ス故ニ決シ此弊アルヲナシ然レハ建築師アルレテツクトハ時アリテ竊ニ請負人ト密謀シ政府ヲ欺罔スルヲアリト云請負人工事ニ掛リ半途ニ至リ概算ノ相違ヲ悟リ約束ノ材品ヲ用ヒテハ損込トナル故ニ約束交換ノ事ヲ歎願スト雖モ決シテ採用スルヲナシ論ハ堤防ヲ築ク半途ニシテ大雨洪水ノ為ニ全ク流没シ新ニ換築スルト至ル政府

ニ於テ之ヲ顧ミルヲナシ

先年ラー区地名トアレストトノ間ニ鐵道ヲ開キ時始メ一メートル四方ヲニフラシニ豫算シ請負工事ヲ始メシカハ道路巖石意外ニ人力ヲ費シセフランシトスルモ尚ホ是ラス終ニ二十四フランシニ至リシヲアリ此時ハ特リ請負人ノミナラス政府ニ於テモ其豫算ヲ粗漏ニシ大ナル違算ニ及ヒ造築師現在其難工ヲ見聞シ遂ニ其情實ヲ歎願ニ及ヒ採用シテ其餘費ヲ拂ヒシヲアリ然レハ是レハ實ニ千載ノ一事ニシテ決シテ例トスルニ足ラス

風雨火災等ハ始ヨリアルヘキ物ト見做シテ工事ヲ起ス故ニ之ヲ為ニ如何程損失アリテ政府ニ於テ関スルヲナシ然レハ修工中或ハ軍事起リ敵兵ノ為ニ碎破セラレ或

ハ土寇蜂起シテ毀壞セシ如キハ實ニ非常不虞ノ變難政
府モ之ヲ傍觀スルノ理ナケレハ其失財ヲ補助セサルヲ
得ス請負人モ亦之ヲ歎願スルノ權利ヲ有セリ
或ハ政府官吏ノ指揮ニ從テ成ル工事ニ過失アレハ請負
人州會ニ付テ出願スルノ權アリ

近年或州ニ於テ公營アリシ時建築師某下知シ壁ヲ塗
ラシメントセシニ職人其時節ノ不可ナルヲ演舌スレ
氏用ヒスレテ塗ラシメシニ果シテ嚴寒ニ逢ヒ其塗壁
損失シ春ニ至リ再ヒ塗換シ事アリ此時請負人官吏ノ
下知ニ使ヒ看ミ是ノ如キ損失ニ及ヒシ情實ヲ具ニ歎訴
シ政府ニ於テモ之ヲ採用シ其償金ヲ与ヘシコトアリ如
是キ事故アリテ政府ニ歎訴シ採用セラレサルハ州
會ニ依リコンスエーエデタルノ裁判ヲ乞フコトアリ

論ハ十萬フランクノ請負ヲ受メテ修工ヲナスニ半途ニ
シテ代金ヲ乞フコトアレハ其工事ノ成就セシ多少ニ應ジ
凡ソ三分ノ一分三萬フランクヲ獲ス而シテ其三萬フラ
ンクノ中ヨリ十分ノ一ヲ引殘シ置クナリ

政府ヨリ請負人ニ金ヲ拂フニハ兼テ拂フヘキ日限ヲ定
メ置クヘシ

請負人若シ職人雇夫ニ賃錢ヲ拂ハサルハ請負人ニ拂
フヘキ金ヲ政府ヨリ直ニ其職人雇夫ニ拂ヒ渡スコトア
リ

賃錢ノ拂方停滯スレハ日稼ノ細民ハ忽チ活計ニ困ム
故ニ自然其雇役ヲ厭フモノ多クナリ工事ノ功ヲ奏ス
ル遲延ノ憂アリ然ルハ建築師其情實ヲ政府ニ以聞
シ本文ノ所置ニ及フコトアリ

佛蘭西ノ法律ニ於テ譬ハ茲ニ四人ノ財主一人ノ借リ
主アリ其借リ主事故アリテ返金ノ方ヲ失ヒ分散ニ及
ツ片ハ所持ノ家財悉ク沽却シ其代金二百フランクニ
レハ四人ノ財主四ツ割ニシテ五十フランクツハ受取
ル規則ナリ然ルニ借主若シ職人ヲ雇ヒシ事アリテ
未タ其賃錢ヲ拂ハサルアレハ先ツ其二百フランクノ
中ヨリ職人ノ賃錢ヲ皆濟セシメ其餘ノ金ヲ四人ノ財
主ニ分ツヘシ財主ハ金ノ高ニ應ジテ割リ職人ハシカ
ラス

前ニ説シ如ク請負人ニ内金ヲ拂フニ百フランクニ十フ
ランクツハ引殘シ置クハ他ニアラス其工業ヲ堅固ニ成
サシメシメ目的ナリ此外ニ又タ百フランクニ一フランク
ツハ引殘シ置クアリ夫ハ職人修工中不時ノ過傷等ア

リシ時ノ用意ニ備置クナリ若シ職人無難ニテ落成スレ
ハ則チ請負人ニ返シ渡ス若シ過傷人數人ニ及ヒ此ノ金
ノ三ニテ療養ニ充ルニ足ラサルハ政府ニ於テ之ヲ補與

一 般ニ修工中職人過傷アルハ則チ病院ニ下シ療養ヲ加
ヘ通スナリ若シ病院ノ設ナキ僻郡ナレハ自己ノ家ニテ
加養セシメ医師及上藥料ヲ與フ且ツ職人一日ノ賃錢四
フランクナレハ半減ニシテニフランクニテ政府ヨリ拂與
フ或ハ兩手ニ損ラ受ケ働ケル能ハサルハ政府ヨリ一年

間ハ拂主與フヘシ
假令職人自身ノ過失ニ由ルニ過傷アルハ則チ傷病ヲ得ルトモ氏
猶ホ上件ノ如クスヘシ若シ請負人ノ不行届キ無キモ
傷病ノ爲ニ過傷アルハ裁判所ニ出願シ相應ノ償

金ヲ出サシムルアリハ民法ニ科ナレ

公工ノ外尋常ノ人ニ雇ハレシ職人ハ仮令如何ナル過

傷スルハ決テ顧ミルナシ

若シ公工ノ為ニ過傷シ死ニ至ルハ造築師ヨリ公

工事務省ニ其情實ヲ上告シ執政ノ決ヲ以テ其寡婦子弟

等ニ扶助金ヲ与フヘシ其眞數ハ其家内活計ノ難易ニ從

ヒ適宜ノ處分アルヘシ若シ請負人ノ過ニヨリ死ニ至レ

ハ政府ヨリ相應ノ金ヲ與ヘ且ツ請負人ヨリモ亦若干ノ

扶助金ヲ與フ

請負人彼約束書ニ違背セシマアレハ半途ニシテ請負ヲ

廢スルアリ或ハコジト云ニ處スルアリコジハ

道路橋梁導吏ヲシテ請負人ニ代ラシム諭ハ請負人ノ後

見ノ如シ故ニ職人ノ指揮萬事ヲ任受シ全功ヲ卒リシ後

ニ其費額ヲ請負人ニ拂ヒ渡スナリ

若シ請負人約束ニ違背スルマアレハ造築師州知事ニ報

告ス州知事請負人ヲ召呼ヒ怠慢ノ罪ヲ責メ十日ヲ限リ

約束ニ從ヒ換修スヘキ由ヲ達ス若シ十日ヲ經テ尚ホ怠

ルハ州知事公工事務省ニ上告シコジニ處スルヲ

直達或ハ書面ヲ以テ達スヘシ

此際ニ注意スヘキ情實アリ大抵造築師ト請負人トハ

相和セサル者アリ如何トナレハ造築師ハ官ノ為ヲ主

トシ請負人ハ自己ノ為ヲ主トス故ニ其趣意ノ相反ス

ルヨリ不和ヲ生ス自然ノ理ナリ然ルハ互ニ相軋リ

僅少ノ事モ假借セスシテ出訴スルマアリ故ニ此ノ如

キハ執政知事ニ命シ深ク其情實ヲ探索シ然ル後ニ

處分スヘシ此ノ如キ事ハ實ニ稀有ノ事ナリ

上件ノ事實アリテ工事既ニ半途ニ至レハロジニ處
スル多シト由ル或ハ因循手ヲ下サス或ハエヲ始メ幾何
ナラスシテ猶豫遲緩スル者ハ畢竟自己ノ違算ニテ利益
薄キカ故ニ他人ニ譲リタキ情實アル故ナリ是ノ如クニ
至レハ請負人ヲ廢シ更ニ始メノ如クシテ他人ニ命スヘ
シ然ルニ此ノ如クニ至リ再ヒ命スルニハ始メノ如ク請
負ヲ企望スル者少ナシ故ニ始メ五萬フランクニテ請負
セシモノハ必ス六萬フランクト望ミ出ヘシ其時ハ六萬
フランクニテ許容シ而シテ餘ノ一萬フランクハ前ノ請
負人ヨリ償出セシムヘシ

以上ハ請負人ノ過失ニヨリテ止メシ時ノ規則ナリ時
ニヨリ請負人ノ怠慢ニ非スシテ停止セルヲアリ譬ハ
不慮ノ軍事等起リ止ラ得スシテ停工ニ及フアル時

ハ之カ爲ニ新ニ製造セシ器械等ノ代價及ヒ一切ノ失
費ヲ政府ニ負ヒ受ケ且ツ請負人ノ利益ヲモ與ヘ拂フ
ハシ若シ請負人半途ニシテ死スルヲアレハ其工事ヲ
停廢ス然レトモ若シ其子又ハ親族ノ内ニ請負継承ス
ル者アレハ之ヲ許スヘシ然ラサレハ一般ニ止ムルヲ
規則トス又分散ニ付テモ止ムヘシ

請負人ハ奸猾ノ者多ク唯射利ノ多キヲ企望セリ政府
ニ於テモ其所ニ注意シテ規則嚴密ナル如斯シ然レモ
餘リ密ニ過キ所得薄ケレハ請負ヲ欲スルモノナシ故
ニ政府ニ於テモ近年此規則ノ寸尺ヲ弛セリ
以上ハ請負人ノ過失事故ニヨリテ過止スルヲ説ケリ
以下政府ノ事故ニ因リ廢止スルヲ記ス

請負人ハ政府ヨリ事故アリテエヲ止ムル一年ノ久シキ

ニ及ハ、其工事ヲ辞スルノ權アリ然ルハ是マテ取掛
リシ營築ノ失費及ヒ此工事ノ為ニ製シタル器械及ヒ夫
レカ為ニ買ハレシ諸材品ニ至ルマテ悉ク政府ニ於テ買
上クヘシ營築中種々ノ事故アリ詢ヘハ政府ヨリ請負人
ニ渡ス所ノ約束書ニ此營築ニハ木ト石トヲ錯ヘ用ユヘ
シトアリテ營築ニ取掛リテ後テ造築師始メテ木ヲ用ヒ
不可ナルヲ察シ都テ石ヲ用ユヘキ由ヲ命ス此時政府ヨ
リ相應ノ金ヲ償与スルハ勿論若シ之ヲ拂ハサル時ハ請
負人断然請負ヲ辞スルノ權アリ

造築師精キ熟評ニ涉リテ決定セシ約束ナレトモ實地
上ニ施行スルニ至リ此ノ如キ課考往々之レアルヲ免
レス

請負人既ニ約束ニ從ヒ公工奏功アレハ其趣キヲ掛リノ

造築師ニ告ク造築師先ツ假リニ承諾シ二三个月間細詳
検査シ全工遺漏ナキヲ見テ始メテ之ヲ信シ其由ヲ掲記
シ州知事ニ出シ州知事之ヲ公工事務省ニ報シ始メテ全
費ヲ請負人ニ拂ヒ渡スナリ

此金ハ公工事務省ヨリ州知事ニ付シ州知事之ヲ請負人ニ拂ヒ渡スナリ

造築師卒エノ由書ヲ出シテ後テ三ヶ月ヲ出スシテ其全
費ヲ拂フヘシ若シ停滯シテ三ヶ月ヲ過レハ金ノ多少ニ
應シ利息ヲ付テ拂フヲ規則トス

始メ請負ヲ命セシ時諭ハ百萬フランクノ工事ナレハ二
十萬或ハ三十萬フランクノ証金ヲ政府ニ預リ之ヲゲ
スデデボシニ預キ置キ工事卒ルヲ俟テ利息ヲ添テ返金
ス若シ其中家資分散等ノ事アレハ此金ヲ以テ工費ニ充
テ或ハ約束ヲ違背シ粗材ヲ用ユル等ノ事アレハ時分ニ

ヨリ此金ヲ以テ約束ノ村ヲ買ハル、事アリ此証金ト修
工中渡ス所ノ内拂金ヨリ引残ス所ノ金ハ公工ヲ堅固ニ
卒遂セシムル為ノ最モ緊要ノ方法ナリ

佛蘭西ニ於テ法律中ニ人民家宅ヲ營築スルハ請負
人十年間ノ請合ヲ立ルヲ規則トス建營ヨリ十年前ニ
毀損スレハ請負人ヨリ之ヲ修理ス然レハ公工ニ於テ
ハ此事ナシ是レ他ナシ政府ニ於テ所用ノ材品ヲ始メ
營築ノ方法ニ至ルマテ悉ク指示シテ造營セシムレハ
ナリ然ルニ近來公工ニ於テモ卒工ノ後十一年間ノ請
合ヲ立シムルノ説起レリ然レハ議論區々未タ決定セ
ス

コンセツシヨ子ール 免許人

免許人ハ免許ヲ受テ公工ヲナスト雖凡請負人トハ異ナ

リ請負人ハ工事卒レハ政府ヨリ直チニ其ハ額金ヲ拂フ
免許人ハ然ラス卒工ノ後十年限ヲ定メラ人々ヨリ利益
ヲ収メ以テ公工ノハ費ニ充塞ス然レハ私資ヲ用テ請
人ヨリ官ヨリ之ヲ補免サレ工事落後セハ則チ其往還
免許人ハ左ノ約束ヲ確守スルヲ要ス

第一 工事ノ成就スル事

第二 定リタル日限ニ落成スル事

工事ヲ起スニハ先ツ造築師ニ命シ大抵工事ノ大小
ヲ測リ落成ノ日限ヲ豫定セシム若シ日限ヲ誤マレ
ハ其工事ヲ停廢ス

第三 堅固ニ修繕スル事

請負人ノ規則ハ工事終リ既ニ政府ニ引渡ス上ハ假
令不日損敗スルモ顧ルナシ免許人ノ工事ハ然ラ

ス其利益ヲ収ムル年限中ハ損壞ノ虞アレハ直ニ
修繕ヲ加フ

第四 年限ノ終期ニ至リ堅固ニ修繕ヲ加ヘ政府ニ引
渡ス事

鐵路ノ定期ハ九十九年ヲ以テ通例トス而シテ大抵
五十年ニ至レハ必ス破損ス故ニ其年大ニ修繕ヲ加
フ而シテ又四十年餘ニシテ已ニ政府ニ歸返スヘキ
期ト再修ノ期ト併セ至ル是ノ故ニ再度ノ修理ハ輒
モスレハ粗糲ナルアリ因テ政府豫メ建築師ヲシ
テ觀檢セシム若シ粗糲ノアリアレハ五年ノ利錢ハ悉
ク政府ニ收メ修理ノ費ニ充ヘシ

免許人ナル者ハ大抵鐵路橋梁等ヲ引請ケ造架スル會社
ヨリ出テ政府ニ於テハ此工事ヲ成シ遂ルヤ否ヲ鑑定シ

免許スルナリ

論ハ巴理斯ヨリ里昂マテノ間ニ鐵路ヲ開クニ各鐵路
會社ヲシテ鐵路ヲ作スノ草案ヲ十サシム會社命ヲ奉
シ國民ノ便利及ヒ鐵路會社ノ得益ヲ測リ草案ヲナシ
公工事務省ニ呈ス執政之ヲ監督長鐵路掛ニ下シ人民
ノ便否ニ基キ各草案ノ可否ヲ議定セシム
佛蘭西ニ鐵路會社ノ大ナル者六ツアリ曰ク里昂曰ク
パリヤニ曰クロスト曰クロエスト曰クハール此外ニ
政府ニ於テ造營スル所ノ鐵道アリ之ハ僻邑遐陬ノ不
便ナル處ニ住スル人民ヲ保護センカ爲ニ設ケタル者
ナレハ乗客稀少ニシテ利益ナキノミナラス恒ニ損失
トナルヲ多シ故ニ他ノ昌盛ノ域ニ設タル鐵路ノ餘益
ヲ以テ之ヲ補フニ至ル之ヲ以テ觀ルハ保護

凡ソ工事ヲ起サントスルニハ免許人ニ下シ評議ノ上草
案ヲ作ラシム已ニ草案ヲ呈スレハ之ヲ道路橋梁師ニ商
議セシノ執政之ヲ決議シ始テ之ヲ行フ造築師素ヨリ之
ヲ監督スト至凡請負人ノ工事ヲ監督スルニ比スレハ稍
緩ナリ
入札ヲ以テ工事ヲ命スルニ請負人ト異ナル者アリ論ハ
橋梁ヲ架スルニ其費額ノ多少ニ關セズ渡客ヨリ橋錢ヲ
收ムル利益ノ年限多少ヲ以テ之ヲ定ム譬ハ一人ハ三十
年間ト豫算シ一人ハ四十年間ト豫算スレハ三十年ノ豫
算セシ者ニ許ス
工事落成セハ吏ニ執政ノ免許ヲ受ケ運送ノ賃錢ヲ定ム
政府ニ於テ議定セシ所ノ規則ニ少シモ乖戾スルヲ能ハ
ス

論ハ旅客或ハ物品ヲ運送スルニ何方ヨリ何方マテノ賃
錢何程ト定リシ上ハ仮令一錢ト雖モ其上ニ増加スル能
ハス
運漕河橋梁ノ會社昌盛ナラサレハ終ニ修繕ニ怠ルヲア
リ然ルハ人民自ラ出錢シテ涉ルヲ厭フヲアリ若シ此
ノ如クナレハ約束ノ年限半期ニテモ政府ニ之ヲ買ヒ上
ルヲアリ

譬ハ鐵路ト運漕河ト西道アルハ人情必ス賃錢ノ下
直ヲ好ム故ニ汽車下直ナレハ乗客汽車ニ就キ郵船下
直ナレハ乗客必ス郵船ニ就クハ然ルハ乗客少キ
方ハ利益ノナキノミナラス年々損失トナリ自然修繕
スル能ハスシテ竟ニ荒蕪ニ赴クヲアリ此ノ如キハ止
ラ得ス政府ニ之ヲ買上ルナリ

政府ヨリ議定セシ所ノ貸錢ハ一錢ト虽モ増添スルヲ
許サスサレモ定賃ヨリ減少スルハ會社ノ意ニ任ス
故ニ其繁榮ヲ謀ル爲ニ往々貸錢ヲ減省スルアリ
里昂トアビニヨントノ間ニ汽車汽船兩路アリ始メ汽船
ノ貸錢下直ナリシ故ニ乗客多ク甚ク繁昌セシカ汽車
格別ニ貸錢ヲ減シタル故ニ後テ鐵道繁昌ス水路八年
々衰微ニ属シ現今殆ント廢止ニ至ラントス

教師シヤエー氏講説

工 事

中

公工ノ為ニ人ノ邸宅ヲ取除ル事件
ト公工云ニ全國人民ノ為

全國人民ノ為ニ造營スル所ノ公工ハ一人ノ利益ヲ壓倒
スルヲ得ルノ理アリ故ニ政府ハ公工要用ノ土地アレハ
斷然其地主ヨリ買取ル權アリ之ヲエキスプロプリヤツ
シヨント云

今茲ニ一ノ大道ヲ創造スルニ其創造スヘキ地ニ邸宅ア
レハ取り除カシメサルヲ得ス之ヲ取り除ケシムルニハ
政府ニ於テ叮嚀告諭シ其邸宅ヲ買ハルヘシ然ルニ地主
之ヲ肯ンセサル時ハ相應ノ代價ヲ出シ斷然買ヒ上ルノ
權アリ

全國一般ノ利益ノ為ニハ一人ノ利益ヲ欠モ妨ケナキ條
理アリ故ニ公工ニ要用ノ地アレハ地主ヨリ買ハルヘシ

然ルニ又夕地主ノ損害トナルアレハ政府ヨリ償與セサ
ルヘカラス

公工ノ為ニ土地ヲ買ヒ取ルニ最初ノール邑長ノ役所ニ
於テ各地主ノ所有書ヲ差出スヘキ粘壁ノ布告ヲナシ所
有書已ニ集マレハゴミツシヨシラ立評議ヲ盡セシ後チ
議事院ニ出シテユキリラーピユブリツク公ノ利益ト云義
トナシ復タ公布スヘシ

此ノ如ク政府固ヨリ公工ノ為ニハ地主ノ地ヲ取除カシ
ムルノ權利ヲ有スト雖凡町噤及復多少ノ手段ヲ盡ス
ヘシ敢テ政府ノ威權ヲ以テ地主ニ脅迫ス可カラス

既ニユキリラーピユブリツクノ公布アリシ後ハ州知事
ヨリ公工ノ為ニ其地面ヲ賣拂フヘキ所以ノ大意ト道路
ノ圖面トヲ布告ス然ルニ開造スル所ノ道路ノ景況ニヨリ

テ地主余地ヲ失フアリ半地ヲ失フアリ或ハ僅ニ失フア
リ何レモ其土地ノ人民ハ兎角地面ヲ賣拂フヲ好マサ
ル故ニ創造スル所ノ道路ノ方向ヲ各、自己ノ地面ニ波及
スル無ラ欲シテ種々ノ説ヲ主張スル者アリ之レ亦人情
ノ免レサル所ナレハ右等ノ所有ヲ言ハシメン為ニ布告
ヨリ一七日間ヲ置キ其存意書ヲ出サシム既ニ存意書集
マレハ州知事ヨリ命セラレシ四人ノ「コンスエーエゼ子
ロ」州會議員ト建築師邑長相會議ス副知事之レカ統
領トナリテ其議ノ可否ヲ決定スユキリラーピユブリツ
クノ布告ノ後ト雖凡尚ホ念慮ヲ人民ニ加フル此ノ如シ
若シ其存意中至當ノ議アリテゴミツシヨシ同意シ道筋
等ヲ交換スル等ノ事アレハ又更ニ最初ノ手數ヲ盡シ評
議セシ後チ知事ヨリ一ノ決定書ヲ作り政府ニ於テ云々

ノ公議ニヨリ道路ノ方向変換シ更ニ彼ヨリ此ニ至ルノ
地面ヲ買ハルノ趣ヲ記載シテ公告ス
凡ソ議定テ人民ニ達スルニハ公工事務省ヨリ之ヲ直ニ
達セス其州ノ民事裁判所ヲ經テ達スヘシ民事裁判所尚
ホ其始末ヲ詳密取調ヘ相違ナケレハ各地主ヲ招ヒテ地
面ヲ賣渡スヘキ旨ヲ懇々告諭ス

此事務ヲ民事裁判所ニ托スル所以ハ第一嫌疑ヲ避ル
為ナリ其故ハ從來地面國用トナル事アレハ州知事一
見シテ倉卒ニ決定シ買ハシ患弊アリシ故ナリ民事裁
判所ハ恒ニ人民保護ヲ主務トシ時アリテ人民ノ為ニ
政府ニ抗論スルコトアリ如是キ故ニ人民恒ニ我々ノ人
ノ如ク思フ故ニ其說諭ニ背ク者ハ稀ナリ
裁判所ノ告諭終レハ州知事其趣ヲ邑長ノ役所ニ達シ州

中ニ粘壁布告シ邑長管下ノ地主ニ裁判所ヨリ布達セシ
書付ノ寫シヲ示ス此ノ如クスル後ハ其地ハ既ニ地主ノ
有ニアラス最モ工事ヲ起サハル以前ニ邸宅ノ代價ヲ拂
ヒ與フヘシ

革命以前ハ地面ヲ買ハレ其代價ヲ拂ハスシテ其工事
ヲ始メ歳月ヲ經テ終ニ拂ハサル者アリ故ニ革命已來
大ニ嚴重ノ法律ヲ設ケ代料ヲ拂ハスシテ工事ヲ起ス
ヲ嚴禁トス

邸宅ノ代價ヲ定ムル甚タ難シ從前ハ之ヲ州廳ニ於テ
之ヲ定メ拂ヒシカ人民先角之ヲ欲セサル者多シ故ニ
此事ヲ民事裁判所ニ任セリ然ルニ人民ノ為ニハ事ナ
レ氏政府ノ損亡トナルヲ甚タ多シ互ニ過不及アリテ
平均至當ヲ得ス故ニ即今ハ之ヲ司法官ニ任シテ其

代償ヲ定メシム

民事裁判所ノ告諭終リテ州知事ノ布達アリシ後ハ直ニ
邸宅ノ代償ヲ地主ニ拂フヘシ其前ニ建築師ヲシテ邸宅
ノ代償ヲ概算セシムヘシ然ルニ拂フニ及ンテ地主之ヲ
不足ト思フハ其意ヲ民事裁判所ニ訴ヘシ民事裁判所
若シ之ニ同意シテ政府ノ概算ヲ不當トスルハヨリ
シニ出シテ之ヲ議セシム

シユリハ郡ニ於テ邸宅ヲ所持スル者ノ中ヨリ投票ス
一郡ニ於テヨリトナスヘキ人物三十六名ヲ撰擇シ
其名簿ヲ民事裁判所ニ備ヘ置キ前ノ如キ事件アルハ
民事裁判所ノ長官之ヲ閱シ其簿中ヨリ十六名ヲ撰出ス
ヘシ事ヲ議スルノ日ハ前日副知事ヨリ何月何日ニ某ノ
事件ヲ議スル由ヲ告ケテ右ノ十六名ヲ會合シ民事裁判

所ノ官負一名出席シテ會長トナルヘシ

シユリハ十二名ヲ以テ定メ負トス故ニ會議ニ臨ミ或ハ
政府ノ概算ヲ可トシ地主ノ定見ヲ不可トスル者アリ或
ハ政府ノ定見ヲ不可トシ地主ノ概算ヲ可トスル者アレ
ハ雙方兩人ヲ割去ラシム<sub>右ハ此ノ如キ反對ノ論ヲキ
シ餘ノ十二名ニ於テ此議ヲ所決ス諭ハ政府ノ概算百フ
ランジ地主ノ概算三百フランクナレハ大抵其中間ヲ取
リ百五十フランクト議定ス</sub>

シユリハ政府ノ概算ヨリ減少ノ定見ヲナス能ハス又
地主ノ概算ヨリ超過スルモ許サス唯政府ト地主トノ定
見ノ額内ニ於テ償直ノ高下ヲ定ムルノ權利ヲ有セリ
家ニヨリテハ政府ヨリ借入ニ金ヲ與フルヲアリ又地
面ニヨリテハフェルミエ_{借地人ニ金ヲ與フルヲアリ}

如何トナレハ借宅人ハ俄ニ家ヲ失ヒ又「フルミエ」ハ
年限未タ終ラサルニ地ヲ取ラレ皆十活計ノ道ヲ失フ
アル故ナリ之レノミナラス祖先以來連續住居シテ老幼
共ニ別染シ土地或ハ商人等土地ノ景況ニヨリ大ニ商業
繁昌セシモ俄ニ轉居スレハ衰微ニ至ルモアルヘシ故ニ
是等ハ厚ク仁恕ヲ加ヘ代價ノ外ニ相應ノ金ヲ与フヘシ
ジユリ「其代價ヲ審調シ論ハ政府ノ概算百フランク地
主ノ概算三百フランクニシテ果シテ地主ノ概算當ニ
シテ政府ノ概算不當ナルハ三百フランクヲ拂ハシム
ルノミナラス代價ノ外ニ諸費ヲ<sup>工事ヲ起スニ付粘壁
布告等ノ失費アリ</sup>政府
府ヨリ出サシム又政府ノ概算適當ニシテ地主ノ概算貪
欲ナレハ政府概算スル所ノ百フランクヲ與ヘ且ツ諸費
ヲ粘壁^{失費}公布地主ヨリ拂ハシム若シ双方共ニ是見適當セ

サレハ其中間ヲ取リ之ヲ定ム然ルハ諸費モ亦同シク
雙方ヨリ出サシム「ジユリ」議定セシ上州知事ヨリ議定
ノ趣意ヲ公布ス然ル後々地主尚ホ不満是ニテ速ニ其代
金ヲ受取サル者アリ然ルハ法律上ニ於テ地主ニ金ヲ
拂ハサル前ニ工事ヲ起ス能ハサルヲ以テ其代金ヲ「ポ
ーエ」コンジガツシヨシノ達中ニ投置シル此達中ニ投置セ
ル地主ノ隨意ニ受取ラルハ已ニ此達中ニ代金ヲハルレ
ハ既ニ地主ニ拂ヒ渡セシ者ト見做シ何時工事ヲ始ム
ルモ妨ケナシ

公エラ起ス為メ一ノ地主ヲ轉スルニ第一建築師ニ命
ジ草案ヲ立シムルヨリ「ユナリ」テーピユプリツクニ至
ルマテ許多ノ手段ヲ盡シ第二圖面ヲ示シテ衆議ヲ集
メ第三部比ノ代金ヲ拂フニモ種々ノ手段ニ涉リ遂ニ

ユリ山ノ決ヲ以テ迄ムル等其煩苛思フヘシ是レヲ
以テ政府ノ威權ヲ以テ人民ヲ脅壓セサル知ルヘシ
道路ノ量況ニヨリ地主ノ半地ハ用トナルヲアリ然レモ
半地ヲ除カハ地主大ニ困却スル者アレハ止ヲ得ス政府
ニ於テ全地ヲ買取ルヘシ最モ地主ニ於テモ之ヲ買シム
ルノ理アリ或ハ地主ノ地面ノ一部分ヲ買取リシ後チ不
用トナルヲアリ論ハ道ヲ開グニ其幅ヲ始メニハ間ト見
迄メシモ工事ヲ創ムルニ至リテ六間ニテ足ルヲアレハ
則チ二間ノ地ヲ餘ス方如キヲアリ然ル氏ハ地主相應ノ
代價ヲ収テ買ヒ返スヲ得ヘシ
工事ヲ起ス道傍ニ土木等退置ク場所ナキ氏ハ依リニ
其傍ヲノ地主ノ地面ヲ借りテ積置キ或ハ地主所持ノ地
ニ石材木等アリテ其石材ヲ公工ニ用ユル時ノ規則アリ

最初諸員ノ約束書ニ所用ノ材質ヲ記載セル中ニ石ハ何
石ヲ用ユト記シアレハ其石ヲ用ヒサルヲ得スト雖モ或
ハ其石場石材乏クシテ用ユルニ足サルヲアリテ地主ノ
地面ニ石材アルヲ見出セハ其石材ヲ採リテ用ニ供セン
ヲ請フヲアリ然ル氏ハ州知事造築師ヲシテ實見セシ
メ故障ナケレハ之ヲ許スヘシ石ノ二事ヲ行フニハ代金
ヲ先拂ニスルヲナシ卒工ノ後チ算計シテ相當ノ代金ヲ
拂フヘシ何トナレハ日數何日ヲ費シ石材何程ヲ用ユル
ト云フヲ豫算スル能ハサル故ナリ
又令石材アリト雖モ家屋園庭或ハ樹林等アレハ請
フヲ得ス

地主ノ地面ヨリ石材ヲ取ルニ二条アリ
一麥或ハ野菜等ノ耕作地面

第二既ニ採石場ト成タル地面

第一ハ耕作ヲ妨クル故ニ地ノ上面ノ代價ヲ拂ヒ土中ノ
品物ノ代ヲ拂フナシ然レモ樹木等アリテ切除ケハ其
木代ハ別ニ拂フヘシ

第二ハ地主既ニハ費ヲ掛ケ土中ノ品物ヲ鑿出シアレハ
其品物ニ應シテ拂フヘシ

此ヲ設クル心直ナリト雖モ種々ノ煩ヲ生スルヲ多シ政
府ニ於テハ費用ノ減省ヲ主トシ地主ハ代金ノ多ヲ貪リ
雙方ノ趣意相及シ決定シ難シ故ニ政府ヨリ「コンスエー
ド」アレエクチエーシラシテ明詳監察セシム而シテ地主
ノ方ニ於テ化學ニ精シキ者ヲ撰ビ政府ニ於テモ同斷ノ
人物ヲ舉ケテ評議セシム然ルニ政府ヨリ出セシ者ハ必
ズ政府ヲ佐ケ地主ヨリ出セシ者ハ必ズ地主ヲ佐ケント

ス故ニ其論多クハ合ハス茲ニ於テ州知事又此學ニ達シ
タル者一名ヲ舉テ之ヲ判決セシム

道路營繕ヲナスニ便利ニヨリ路傍地主ノ地面ヲ借り土
砂木石等ヲ積置クニハ耕地ヲ妨クルアレハ相應ノ代金
ヲ拂フヘシ

政府ヨリ某ノ地ニ石材アラントテ思ヒ土ヲ鑿リ木ヲ伐
リ或ハ土ヲ荒スアレハ相應ノ代價ヲ其地主ニ拂フハ
庶論ナリ

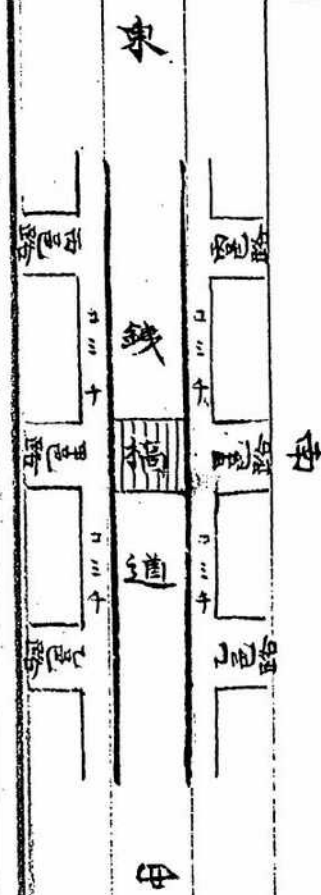
以上都テ地主ニ妨ケアル条件アレハ相應ノ代價ヲ拂
フハ言ヲ待タスト虽モ此外ニ又代價ヲ拂フヘキ事件
アリ

今爰ニ一ノ鐵路ヲ開造スルニ土砂ヲ運送シテ堆積スル
カ爲ニ自然丘阜ヲナシ其傍ラニアル邸宅之レカ爲メニ

空氣ノ快通ヲ妨ケラレ或ハ日照リ悪クナルヲアリテ其
地主ヨリ歎願スレハ政府ニ於テ相應ノ金ヲ与ヘサルヲ
得ス又便宜ニヨリ市街ノ道ヲ高クスルヲアリ路傍ノ大
家之カ爲ニ馬車ノ往來ヲ妨ケラレ豪客富人ノ此家ヲ借
ル者ナクナリテ活計ヲ失フ氏ハ多少ノ代金ヲ與ヘサル
ヲ得ス之ヲドマージニト云フ損害ノ義
都外ノ驛々ニ旅舎アリ然ルニ新タニ鐵路ヲ開ケハ往來
旅客ノ休泊スル者ナク其地ノ人民大ニ生計ヲ失フア
リ佛蘭西ニ於テ往來往々此事歎訴ニ及ヒ大ニゴンス
エーエデタリヲ煩セシマアリ之ヲドマージユジレクト
ト云然レハ是等ヲ採用スレハ際限ナシ故ニ政府之ヲ顧
ミルヲナシ
又地ノ形勢ニヨリ鐵路ノ爲ニ大ニ商賣ヲ妨ケラル、者

アリ論ハ一ノ驛店アリ従前二十人ノ客來リシモ千人ニ
減シ大ニ生計ヲ失ヒテ歎訴スレハゴミツシヨシヲ立テ
熟評ノ後テ金ヲ與フルヲアリ
又閑靜ナル地ニ鐵路ヲ開キ其近傍ノ家俄ニ蒸響輪声ノ
爲ニ夜間安眠ヲ妨ケ健康ヲ害スル由ヲ言ヒ歎訴セシマ
アリテ評議ニ及ヒシマアリ然ルニ是等ノ事ハ代價等ノ
是リモナク且ツ際限モナシ故ニ採用セスト云
此他鐵路ヲ開クニハ種々ノ苦情ヲ訴ル者多シ然レハ盡
ク之ヲ採用スレハ財用是ラス鐵路ヲ開ク能ハサルニ至
ル故ニ大抵ハ政府ニ於テ顧ルヲナシ
佛蘭西ニ於テ鐵路ヲ開キ始メシ氏ハ物議騷然殊ニ田舎
ノ人民怨嗟ノ聲絶ヘス然ルニ年月ヲ経ルニ使ヒ追々其
運輸ノ便利ヲ知り就中由舎ニ産スル物品ノ價ヒ昔日ニ

十倍スルヲ以テノ故ニ今日ニ至リテハ一人トシテ鐵路ノ便利ヲ悦サル者ナシ又仮令東西ニ向ヒ鐵路ヲ開クニ南北ニ通スル邑路アレハ之ヲ塞カサルヲ得ス然ルニ南北ノ人民ノ便利ヲ妨クヘカラサルニヨリ石或ハ煉化石ヲ以テ橋ヲ架シ其上ニ鐵線ヲ敷キ橋下ヲ邑ノ往來トス然レバ南北ノ邑路多ケレハ毎路橋ヲ架スレハ冗費ニ堪ヘサルヲ以テ一路ノ橋ヲ架シ其他ヲ塞クヘシ譬ハ四ノ如ク甲乙丙ノ三邑路アレハ甲ノ一路ニノミ橋ヲ架シ乙丙ノ二路ハ壅塞シ西側トモ路傍ニ小徑ヲ通シ甲ノ邑路ニ出テ往來セシム



然ル氏ハ僅ニ一塊土ノ隔ニシテ數百歩ノ迂路ヲナスニ至リ歲月ヲ積メハ數里ヲ歩シ數日ヲ費スニ當リ且人馬ノ勞往來ノ不便等種々ノ苦情ヲ訴ル者アリト虽凡是等モ政府ニ於テドマーシユジレクトルト見做テ顧ミス或ハ又東西ノ鐵路アリ直ニ鐵路ヲ横キリ南北ニ往來セシムル者アリ即チ錢路ノ西側ニ鐵橋ヲ繞ラシ鐵扉ヲ設ケ側ニ番卒ヲ置キ之ヲ守ラシメ汽車ノ往來スル氏ハ鐵扉ヲ鎖シテ往來ヲ阻ノ汽車ノ通行セサル間ハ鐵扉ヲ披キ往來セシムルアリ此汰ハ稍簡便ナルカ如シト雖凡是之方為ニ一人ノ番卒ヲ置クノ冗費ヲ厭フテ每路此ノ如クスル能ハス

公工ハ一般ノ利益ノ為ニ起ス所ニシテ政府ノ失費ナ

ル言ヲ待タス然ルニ其公工創營ノ爲ニ格別ノ利益ヲ
蒙ル者アレハ政府之ニ命シ出金セシメ公費ヲ補ナハ
シムルヲアリ

譬ハ道路狹隘ニシテ車馬ノ往來不便利ナルヲ以テ之ヲ
廣ムルカ爲ニ一帯ノ人家ヲ取除クヲアリ然ル氏ハ自ラ
人馬ノ往來繁ク瓦斯燈ノ設ケ増加シテ其市街自然繁昌
ス故ニ其西側ノ人家利益ヲ蒙ル少カラス然ルニ其取除
カシムル家ヲ政府ヨリ買ハル爲ニ西側ノ家々ニ其意ヲ
告諭シ諭ハ一町内ノ間一萬フランクノ家代ナレハ其三
分ノ一ツ三十フランクヲ西側ノ人民ヨリ出サシム側毎
ニ十

公工ハ元來其一町内ノ爲ニ起スニ非サレハ政府ニ於
テ一錢ト雖凡強テ之ヲ收ムルノ理素ヨリアルヘカラ

ス然ルニ其町内元來殷富ニシテ又夕之レカ爲ニ一層
ノ射利アレハ出金セシムル格段ノ汰アリ決シテ一般
ノ規則トナスヘカラス

今其例ヲ舉ンニ往昔セーヌ河ノ堤防ナク西側ノ地一
面ニ沼澤ノ如クナリテ地主ノ地面無用ニ属スル夥シ
ヨツテ建築師相議シ川ノ西側ニ土堤ヲ築キシカハ兩
側ノ地面水乾キ良好ノ牧野トナレリ其利益ヲ算計セ
シニ二千百萬フランクノ多キニ上レリ往來無用ニ属
セシ地面如斯キ有益ノ地トナリシ故ニ西側ノ地主ヨ
リ三百萬フランクヲ政府ニ收メタリ政府ニ於テ此ノ
如キ堤防ヲ築キシヲ以テ始テ不用ノ地変シテ有用ノ
地トナレリ故ニ新ニ見出セシ地面ト一般ノ理ナルヲ
以テ之ヲ地主ニ賣ラントセリ然ルニ法律上ニ於テ用

不用。拘ラス地主ノ所有ノ地ヲ其地主ニ賣ルノ理ナ
ケレハ遂ニ行ハレスヨツテゴンスエーエデター等
田トナク議論ニ涉リ漸ク此處分ニ決定セリト云

凡ソ道路橋梁堤防等公工ノ營繕アレハ造築師ノ其土
地ニ在勤セル者稟算ヲ立テ草案ヲ作り州知事ニ出ス州
知事之ヲ議定シテ後チ工事ヲ始ム然レモ五千フランク
已上ノ金額ニ及ハハ公工事務省ニ告ケ執政ノ許可ヲ受
ヘシ

以上全國一般ノ公工ヲ説ケリ以下一州中ノ公工ヲ畧
説ス

一州中ニ於テ公工ヲ起スニハ請負人ヲ命ジ或ハ土地ヲ
買上ル等百般ノ規則凡テ前ニ説シト畧異ナラス然ルニ
同シク公工ニシテ其費ヲ會計省ヨリ出スアリ州中ヨリ集

ムルアリ州中ヨリ集ム所ノ費ハ既ニ公工ヲ卒リ尚ホ其
金ヲ餘スルハ州中ニ貯置キ牧野或ハ山林ヲ買ニ用フ若
シ又不足ナル時ハ借リハルヘシ國ノ公工ヲ起スニハ議
院之ヲ議定ス州ノ公工ハゴンスエーエゼ子ロ州會議
院之ヲ決議シ^{如シト}執政國長ニ關スルヲナシ然レモ
地主ヲ取除ク等ノ事件ハ執政ノ允許ヲ受サレハ行フ能
ハス大抵ノ小租等ノ公工ニハ地主ト熟談シテ行フ多
シ

州中ニ於テゴンスエーエゼ子ロ此ノ權ヲ握リシハ
七年以還ナリ其前ハ州知事此ノ權ヲ有セリ

州ノ公工ハ必スシモ在場ノ造築師ニ依頼セヌ造築師ハ
恒ニ高價ニ見積ルヲ多シ論ハハ中材ヲ用ヒテ可ナルモ
上材ヲ用ニル等アリ國ノ金ナレハ自己ノ物ノ如ク細ニ

節約ヲ用フル事ナシ故ニ他ニ任スル者多シ

邑ノ公工

邑ノ公工ハ大抵州ト同シ然ルニ邑中ノ爲ニ道路ヲ造ル
ハ邑費ヲ以テスハシ邑ノサシムアサシヨ子ル
ハコンスエーエゼ子ロシ其額ヲ議定シ而シテコンスエ
ーエミニシユバシ邑會サシムアサシヨ子ルノ決
ヲ以テ村落ノ貧富ニ從ヒ適宜ニ之ヲ取立ルナリ
凡ソ一州中或ハ一邑等ノ公工ヲ起スニサシムア
ガシヨ子ルルノ金額ニテ不足スル所ヲサシムア
ヲ徵センコトヲ政府ニ乞ヒ政府命令ヲ下シ年限ヲ期シ
之ヲ許ス其規則ハ政府ニ於テ議定シ都鄙ノ貧富ニヨ
リテ差等アリ

ヲサシムアヲ願フニハ邑會議任當シテ其額書ヲ内國事

務執政ニ出ス執政之ヲ領掌スルハコンスエーエデタル
ノ内國事務課ニ更迭ス同課ニ於テ之ヲ調へ同意スル所
ハ稅額ヲ執政ニ同ノ執政之ヲ邑會議ニ下シ議セシム邑
會議稅額ヲ定メ再ヒ執政ニ出ス執政之ヲ會議課ノコ
ンスエーエデタルニ出シテ始テ其稅額ヲ定メ國長之ヲ命
令ス之ヲコトグルマンビユブリツクト云

葬地ヲ贖フニ年限アリ人ノ貧富ニ應ヒ或ハ五年或ハ十
年五十年百年ト定メテ買フ者アリ此地ハ皆ナ邑ニ屬ス
ル故ニ其地價ハ邑ニ納ム其外犬ノ稅アリ一歳五フラン
クナリ但シ牧場ノ護犬ト獸愛ノ家犬ト差別アリ餘ハ牧
人ノ犬ハ一歳五フランクナレハ家犬ハ十フランクナリ
邑中家犬ノ多少ト邑ノ貧富トニヨリ定ムル故其稅額一
定ナラス又家犬ノ子ヲ産スル所ハ直ニ届出ハシ若シ届

ヲ出サレハ三倍ノ出税ヲ命ス
此外ニ税ヲ取ルヲアリアクトドダトーシビル生死婚ヲ
届出ルトキ邑長之ヲ一ノ簿冊ニ記シ置クナリ生死婚ノ
年月ヲ考見セント欲セハ邑長ニ請テ書寫スヘシ其時証
印税ヲ收ム是皆邑ノ蓄財トス
生死婚証書ハ時々考見スルヲアリ公事訴訟等起リ生死
婚ノ年月ヲ知スルアルハ必ス生死婚証書ニ非サレハ
証トスルニ足ラズ其寫ヲ乞フニハニフランクニ十五サ
ンチリムヲ收ム其内一フランク半ヲ政府ニ收メ餘ノ七
サカンチリムヲ邑ノ積金トス
此証書ノ入用ノ一二ヲ奉ニ男女子共ニ學校ノ檢査ヲ
受ル所或ハ家督相続等ヲ証スルニハ何レモ生死婚
証書ニ非サレハ政府ニ於テ採用セズ

邑ノ公工ハ邑會議投票シテ州知事ニ出シ州知事之ヲ決
定ス
邑ノ公工ハ大抵建築師ヲ煩サス邑長之ヲ監督シ或ハ指
揮ス
公工ノ中ニ國或ハ州或ハ邑ニ關係セサル者アリ即チテ
リガツシヤツシヨシサシジカールニ於テ行フ公工ナリ
アツシヤツシヨシサシジカールハ僱ニ二三ノ地主思ヒ
立チ如何程奮發スルハ衆地主一致同心セサレハ行ハル
ヘカラス爰ニ一ノ法則アリ他ナシ唯タ一致セシムルノ
ミ一致シテ後テ政府ニ請ヒ免許ヲ受始メテ衆地主集會
シ又復熟議シ其議ノ趣ヲ粘壁或ハ新聞紙ニ著シ之ヲ布
告ス
アツシヤツシヨシサシジカールヲ起サントスルニハ各

地主集會シ其中ヨリ五名或ハ六名ノ「コミツシヨ」特選
員ヲ舉ケ各地主ノ代人トシ凡テ是ノ事務ヲ擔當盡力セ
シム其中ヨリ又一名ヲ抽テコレクトールヲ命スコレク
トールノ職ハ請負人ヲ監撰シ會計ヲ任當ス工事落成ノ
上ハ失費ヲ合算シ眾地主其地ノ廣狹ニ割付シテ之ヲ拂
ハシム

アソシヤツシヨンサンジカールヲ起スニ一人異議ノ者
アリ譬ハ灌水術脫水術「ゴルマター」等ノ工事ノ如キ
地ヲ良好ニスル目的ヨリ榮リタル議ハ佞令依然トシテ
弃置クモ人民ノ妨害ヲナスニ至ラス故ニ眾地主一致セ
サレハ政府ニ於テ敢テ之ヲ強ユハカラスト雖凡沼澤溝
河等ノ難害ヲ防ク爲ニ起リタルアソシヤツシヨンサン
ジカールハ一二名不同意ノ者アル氏ハ政府之ヲ修觀セ

スシテ之ヲ一致セシム

爰ニ一ノ大ナル地主アリ此ノ工事ヲ起セハ大ニ利益ア
ラント見ル氏ハ其草案ヲ作り州知事ニ出ス州知事之ヲ
受ラ邑長ニ下シ其工事ニ關係スル眾地主ヲ集會シ其草
案ノ趣意ヲ懇諭シ其日ヨリ廿日ノ間ニ其利害得失ヲ言
ハシム

州知事其事ニ精練ナル人ヲ撰ミ精詳詳議セシメ其利害
得失ヲ審察シ後ニ各地主ヲ集會セシメテ所有ヲ言ハシ
ム諭ハ十人ノ地主アリテ六人ハ同意シ其中ニ加ハセン
一ヲ欲シ四人ハ不同意ニシテ之ヲ欲セサレハ州知事決
廷書ヲ出シテ工事ヲ起ス一ヲ確迄ス最モ眾議ナレハ不
同意ノ四人モ從ハサルヲ得スト雖凡尚ホ強テ之ヲ脱セ
ントスル者アレハ亦タ其意ヲ遂シムルノ方法アリ他ナ

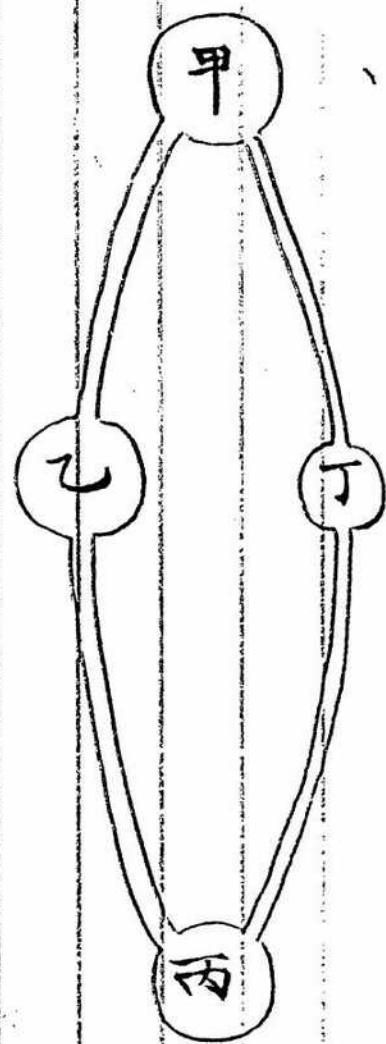
其金地ヲ弁シムルノミ眾地主一ツモ異議ナク同心一
致シテ此議ヲ起サハ政府ニ於テハ唯一人ノ事業ト見做
スヘシ若シ一人ニテモ異論アレハ政府ニ願ヒ出サルヲ
得スビニ政府ニ願ヒ出レハ即チ公エタリ故ニ其規則等
ヲ始メ萬事他ノ鐵路橋梁ノ類ト同般ニ行フヘシ
茲ニ一ノ乾燥地アリテ渾水術ヲ行ハントスルニ他人ノ
地面ヲ隔テ河水アル場處ナレハ其仔細ヲ政府ニ願ハハ
政府ヨリ其水道ヲナスヘキ地面ヲ買取り其願意ヲ遂シ
ム
アリシヤツシヨシ道路ヲ開クニ其地形ニヨリ地主ヲ取
除ケサルヲ得サルヲアレハ州知事ニ願出ヘシ州知事之
ヲ決定シ後チ民事裁判所ヲシテ取除ケノ命令ヲ下サシ
ム

會社ト請負人ト爭論スルアレハゴンスエードブレフエ
クチユーニ州ノ協議所ニ出訴ス州協議所ハ政府ニ屬シ
タル者ニシテ裁判所ニ以スレハ簡易ニシテ甚タ嚴格ナ
ラス且ツ時日ヲ費ス少シ故ニ之ヲ便トス
土功落成スレハ代人一ノ表題ヲ作りテ幾人ノ地主商議
シテ企テシ由ヲ記シ之ヲ州知事ニ出ス州知事之ヲ閱シ
テヨルヌエツトールニ徵稅吏ニ達スニ在ルヌエツトールニ
州知事ニ徵稅吏乃チ誰某ハ何日誰某ハ何日ニ拂フヘシ
ト其日限ヲ定ム其日限遷延スル者アレハ罰金ヲ出サシ
ム
沼澤ノ如キ人身健康ノ妨害ヲナスモノアリテ速ニ埋メ
ントスルハ政府アリシヤツシヨシサンシカールヲ成
サシメントスルニ眾地主之ヲ欲セサルハ政府ニ於テ

斷然成功ヲ起シ落成ノ後各地主所有地ノ廣狹ニ割付シ
其ノ費ヲ償ハシム

ウノウワリ道路ニ関係シタル

ウノウワリニ大小ノ別アリ大ナル「ウノワリ」ハ全
國ノ大道路各州及ヒ巴理府ノ官道ヲ云フ小ナル「ウノワ
リ」ハ都邑等ニテ造ル道路ヲ云フ大ナル國長ノ決定ヲ以
テ之ヲ起シ小ナルハ大抵州知事ノ決定ヲ以テ之ヲ作ル
大道路ハ即チ巴理斯ヨリ伊太利ニ達シ或ハ巴理斯ヨリ馬
塞里ニ至ル等ノ大道路是ナリ此等ノ大道路ヲ作ルニハ必ス
議院ノ公議ヲ經テ之ヲ起スハシ
後チ工事ヲ起スハシ
今茲ニ如圖甲乙丙ノ大市アリ一ノ大道路之ヲ串通



又一方ニ丁ノ貧邑アリ僅ニ一小徑ヲ通ス然ルニ時勢ノ
景況ニヨリ乙ノ市衰微シ丁ノ貧邑大ニ繁栄シ人民ノ往
來品物ノ運輸繁多ニナリテ自然大道路ヲ造換スルヲアリ
是等ハ國長ノ決定ヲ以テ之ヲ造換スハシ然ルニ舊路
ノ地ハ政府ノ所有ニ屬スハシ

大道路ハ國民一般ノ所有物ニシテ政府ニ屬スル者ニア
ラス然レニ之ニ代ルニ新道路ヲ造リテ國長ヨリ之ヲ更
換スルノ命アリハ新道路ハ國民一般ノ所有物トナリテ

舊道ハ政府ノ所有ニ属スヘシ
新ニ大道ヲ開キシ時道ノ兩傍ニ建營ヲナス者各所ニ散
居シ整列セカレハ妨碍多シ故ニ兩傍車線ニ連營スヘキ
由ヲ命ス

今茲ニ新道ヲ開キ其兩側ニ家ヲ建ル者アレハ其場所
方角ヲ指テ州知事ニ出願ス州知事之ヲ建築師ニ下シ
商議セシム建築師公工事務省ニ於テ料スル所ノ圖
面ニ據リテ之ヲ議定セシム而後州知事之ヲ許可シ
道傍ノ建築ヲ起スニ政府ノ許可ヲ得セシムルハ二ノ
目的アリ一ハ連營シテ散居セシメサル爲ニ一ハ兩側
ヨリ漸々延營シ道路ヲ狭ムル等ノ害ヲ防ク爲ナリ
道傍ノ家宅ヲ修繕スルニハ必ス州知事ノ許可ヲ受ヘ
シ修繕ノ權ヲ州知事ニ與フル所以ハ論ハ幅五間ノ道

アリ狹隘ニシテ不便ナリ故ニ漸々以テ七間ニ廣メン
トスルノ暗算アルハ修繕ヲ願出スル者アリト雖モ
妄ニ許可ス自然ニ家ノ破損スルヲ待テ除公シ道路ヲ
廣ノントスルニ害ナキ處ニ新營セシムル類ナリ然ル
ニ此法ハ大抵僻隈寒邑等ニ行フナリ巴理府下ノ如キ
繁華ノ地ハ此法ヲ用ユルヲ十ク既ニ前ニ記セシ手數
ヲ經テ其家邸ヲ買上ルナリ道路ヲ廣ムル爲ニ轉居ヲ
命シ其地所ヲ國ニ買ヒハルハハ「ジュリ」ヨリ之ヲ地
主ニ命ス以上道ヲ廣ムルノ法ヲ説ケリ以下道ヲ狭ム
ルノ法ヲ記ス論ハ幅七間ノ道ヲ五間ニ狭メントスル
ニハ兩傍ヨリ一間ヲ餘地ヲ生ス其餘地ハ其邸掛リ
ノ者ニ買シムヘシ若シ買フヲ欲セサル者アレハ其
全地ヲ政府ニテ買上ケ其邸主ヲ轉居セシム然レハ大

抵之ヲ買サル者ハ斜ナシ

路傍ノ邸地道端ヨリ六ノートハノ間ニ樹木ヲ植ルニ
ハ必ス州知事ニ願ヒ許可ヲ受クヘシ

道路ノ傍ニ常溜ノ穴ヲ鑿テリ塵芥穴ニ滿レハ政府之ヲ
近傍ノ田畑ニ并去ス畑主之ヲ厭フヘキ道理ナレ凡然ラ
ス塵芥ハ多ク肥糞トナル故ニ却ラ悦フ者多シ

家屋高地ニアリ道路卑下ニアレハ雨水注流シテ荒廢シ
易シ故ニ濠ヲ通シ水泄ヲ致クヘシ之ニ反シ道路高クシ
テ家屋卑地ニアレハ恒ニ水難ヲ受ク故ニ溝ヲ鑿リ水泄
ヲ能スヘシ是政府ノ任スヘキ分ナリ

道凸形ナレハ雨水兩側ニ注ハシ路傍ノ家邸ノ妨害ス故
ニ各所ニ穴ヲ掘リ下水道ニ注決スヘシ

製造所ヨリ流ス所ノ水ハ政府ニ於テ關スルヲナシ製

造所ヨリ政府ニ願ヒ穴ヲ鑿テ下水道ニ注ハセシム此
ノ如キハ既ニ前ニ説シ如ク工事中假ニ木石ヲ片付
ケ置ク為ニ道傍ノ地面ヲ其地主ニ借用スルヲ得ヘシ
道ヲ造ルニローグلمانアドミニストラツシヨント

云フ規則アリ若シ此規則ニ背キ道路ノ妨害ヲナス者
アレハ造築師導吏長通年等恒ニ監督シ撮摘書ヲ以
テ州協議所ニ告ケ之ヲ罰シ或ハ罰金ヲ出サシム

以上一般ハ大道ニ関スル事件ヲ奉ケ以下州中道路ノ
事ヲ述フ

一州ノ首府ニ行クニ一ノ邑ヨリ行ク路アリ又タ他
州ヨリ行ク道アリ此兩道ヲ造ル規則尤ノ如
シ

一州中ニ於テ一ノ場所ヨリ他ノ場所ニ道ヲ造ルニハ州

會議ノ許可ヲ得及ヒ同シ官員ノ監護ヲ受テ造営スハ一ノ州ヨリ他ノ州ニ達スル道ヲ造ルニハ双方ノ州會議互ニ一致セサレハ造ル能ハス一方ノ州會議此道ヲ造ルヲ欲スルモ一方ノ州會議ニ於テ承諾セサレハ工事ヲ起スヘカラス然レモ一方ノ州會議兩州人民便益ノ為メニ強テ開造セントスル片ハ議院ニ出シテ公議ヲ受ヘシ議院若シ之ヲ許サハ他ノ州會議如何ナル異論アルモ之ヲ拒ム能ハス

道路落成ノ上諸規則及ヒ道傍ノ建築塵灰水池等ノ設ケ都テ前章ノ如クナルヘシ

鐵道

佛蘭西ニ於テ品物ヲ國ニ運送スル目的ニ早ク鐵路ノ設アリタリ然レモ旅客ヲ乘送スル為ニ開造セシハ漸ク五

巴理

十年以降ノ一十リ始メ旅客運送ノ為ニ巴理斯ヨリヤンゼルマニ巴理斯ノニ開通セシヨリ人々便利ヲ覺知シ漸々ニ廣マリ遂ニ現今ハ全國中蛛網ノ如ク蔓延スルニ至レリ

始メ鐵路ヲ起セシ片ハ巴理斯ヨリヤンゼルマニ造リシ如ク僅ニ三四里或ハ四五里ニ過スシテ其會社モ亦徹々タル者ナリシカ千八百四十二年ノ法律ニ大ナル鐵路ヲ起スヲ布告セリ尔米巴理斯ヨリリールニ白耳義國境ニ通シ巴理斯ヨリ西方ヲワールブルニ開キ巴理斯ヨリツールニ達シツールヨリヤントニ至リ又巴理斯ヨリボルドニ巴理斯ヨリ里昂昂馬塞里巴理斯ヨリヌタラスブールニ開通セリ

シヤユエー氏曰ク如此法律ヲ設ケ大ナル鐵路ヲ開

カシメシハ實ニ政府ノ深圖遠謀ト称スヘシ先ツ此
ノ大任ヲ開キ置ケハ技道ハ使テ開ケ造レル道理ナ
ルヲ洞察セシカ果シテ漸々支路延開シ僅ニ三十年
ナラスレテ現今ノ盛大ニ至レリ論ハ蜘蛛ノ巣ヲ營
ニ先ツ大絲ヲ八方ニ達シ後ニ細糸ヲ纏繫スルト一
般ノ道理ナリ鐵路ヲ開ク者最モ注意スヘキ大要件
ナリ

又曰ク佛蘭西全國ヲ人ノ全身ニ諭ルニ巴理府ハ頭
腦精神ノ如ク諸州邑ハ猶ホ四肢全身ノ如シ鐵路ノ
全國ニ蔓延スルハ猶ホ心經ノ腦髓ヨリ派出シ全身
ニ達シ氣脉相通スルカ如シ

鐵路ハ直行ヲ尚ハス若シ山岳ニ逢ハ避ケ迂迴スヘシ然
ルニ地ノ形勢ニヨリ止ヲ得サレハ最モ山ノ卑キ所ヲ切

抜ヘシ是唯失費ヲ減スルノミナラス山ヲ避レハ必ス村
落ニ近ツク故ニ大ニ人民ノ便利トナルヘシ使令山岳ナ
キ平坦ノ處ナリト云凡必ス蛇曲シテ村落ニ添ヒ開造ス
ルヲ要スヘシ

佛蘭西ニ於テ鐵路今日ノ如キ盛ニ至ルハ政府格別ニ
誘掖獎勵セシヲ以テナリ始メ鐵路ヲ開クニ當リテ誰モ
此ノ如キノ利益ヲ知ル者ナク皆ナ茫々目的ナクシテ工
事ヲ起セリ故ニ政府始メニ左ノ三ヶ条ヲ布令シテ勸獎
セリ

第一乗客乗場所上中下ノ賃錢ヲ定ム

第二鐵路ヲ起スニ資本不足ナレハ政府ヨリ貸與フヘ
シ

第三利益ナク或ハ損亡スルヲアレハ政府ヨリ之ヲ補

是スヘシ

佛蘭西ニ於テ百フランクニ付五フランクノ利分ヲ通
常トス故ニ論ハ巴理斯ヨリ馬塞里ニ通スル所ノ鐵路
ハ八費十萬フランクト見テ一歳五千フランクノ利益
アレハ通常ノ利分ナリ然ルニ若シ四千フランクナレ
ハ千フランクヲ政府ヨリ補遣シ相當ノ利益ヲ取ラン
ム此ノ如ク政府勸奨誘導セシ故ニ遂ニ今日ノ盛大ニ
至レリ

六條ノ鐵路既ニ成就セシ後ト雖モ政府尚ホ怠ラス誘奨
ノ術ヲ盡シ支路ヲ開カシノタリ便利有益ノ地ハ大抵會
社ヨリ開造スト雖モ不便薄利ノ處ハ會社開クヲ欲セ
ス故ニ政府百方盡力シ會社ノ力ヲ以テ開カシメタリ此
ノ如クシテ尚ホ會社ヨリ開カサルハ止ラ得ス政府ノ

手ヲ以テ之ヲ開ケリ上ニ説シ如ク百ニ五分ノ利益ナク
レハ政府其不足ヲ補フト衆民之ニ反シテ五分已上ノ贏
利アレハ其景況ニ応シ其利益ヲ政府ト分割スヘシ
贏利金ノ政府ニ収マル者ハ斯ヘ置キ衰微セシ鐵路ノ
利分ノ不足ヲ補フニ充テ或ハ會社ノ欲セサル所ノ鐵
路ヲ政府ニテ起スヲアル時ノ爲ニ供ス
鐵路會社金ヲ募ルニ二法アリ一タ「アクシヨ」ト云一ヲ
「ブリガツシヨ」ト云

アクシヨ

アクシヨハ論ハ爰ニ鐵路ヲ開造スルニ十萬フランク
ノ金ヲ出シ置キ而シテ其得ル所ノ利益五千フランクナ
レハ尋常ノ利分トス然ルニ四千フランクナレハ一千フ
ランクノ損上ナリ又六千フランクニ上レハ千フランク

ノ餘益ヲ得故ニアクションハ非常ノ大利ヲ得又非常ノ大損トナルアリ

ラブリガツシヨン

ラブリガツシヨンハアクショント反對ニシテ大利モナク又大損モナキ法ナリ今十萬フランクノ金ヲ出シテ鐵路ヲ起シ其得ル所ノ利分五千フランクナレハ通常ナリ然ルニ若シ四千フランクナレハ其不足ノ千フランクヲ政府ヨリ補ヒ與フ故ニ損ハスルナシ故ニ又六千フランクノ利益アルハ五千フランクノ利ヲ收メ餘ノ一千フランクヲ政府ニ收ムハシ

鐵道ヲ起スニアクション子ールアクション人ヲブリガトールラブリカツシヨント相結ヒ双方ヨリ十萬フランクツ、出金シ開造スルアリ其所得利分八千フランクア

ルハ雙方配合スルニラブリカトールノ百八十五千フランクヲ得アクションハ三千フランクヲ得ハシ或ハ其利益一萬五千フランクナレハラブリガツシヨンは五千フランクヲ得アクションハ一萬フランクヲ收ムハシアクションニテ一ノ鐵路ヲ起ス其ハ費凡ソ十萬弗ト見テ一歳ノ利益三萬弗ヲ得其鄰地ニラブリガツシヨンはテ造ル鐵路モ同ク十萬弗ヲ費シ一歳ノ利益僅ニ三千弗ナレハ政府アクションノ贏利三萬弗ノ中ヨリ二千弗ヲ缺キラブリガツシヨンの不足ヲ補ヒ助クハシ此法ヲ施スニハ最初ニ約束アルハシアクション子ールハ九十九年ノ期限ニ至リテ鐵路ヲ政府ニ属スル時政府ヨリ買ハレシ汽車ノ代金ハ會社トアクション子ールト分配スハシ

ラブリガツシヨニハ此時ニ至レハ汽車ハ都ラ會社ニ屬
シ一錢ヲ分ツナシ
ラブリガツシヨニハ爰ニ鐵道ヲ開クニ十萬フランクト
見テ二百人ノヲブリカトールナレハ二百フランクトツハ
出金スヘシ此ヲブリカトールハ百ニ五分ノ利ヲ得ル当
然ナリ然レモ即座ニ五百フランクトヲ出サスシテ三百フ
ランクトヲ出シ各番衆ヲトリ毎年闔ミスルナリ闔ニ當
リシ人ハ直ニ五百フランクトヲ受取リ其社中ヲ脱スヘシ
左スレハ二百フランクトノ利益アリ又來年此ノ如クシテ
一人脱シ其翌年モ同斷年々此ノ如クシテ百年ニ至レハ
遂ニ皆十脱去スヘシ
鐵路ヲ起スニハ工事ヲ命スヘキ人物數名ヲ集メ其中ヨ
リ拔撰シ執政ニ告クヘシ

鐵路ノ大工事ヲ命スルニハ相應ノ資本ヲ有スル者ニ
非サレハ成就シ難シ故ニ財産ヲ調スルヲ要スハインク
ド佛蘭西ノ主人ヲ人撰者ノ中ニ加ハシテ財本ヲ取調
ヘシム何故ナレハ巴理府ニ於テ豪富ト稱スル者ハ大
抵インクド佛蘭西ト結ハサル者ナケレハナリ
鐵路ハ人民ノ便利ノ爲ニ起ス公エナレモ又政府ノ利益
トナル者ナリ如何トナレハ九十九年ノ後ハ政府ニ屬ス
ル故ナリ

コンスエーエノ議ヲ經テ公エヲ命セラレシ者ハ請負人
ト同シクヲポードコンシガツシヨニニ託金ヲ出スヘシ
凡ソ公エヲ命セントスルニハ先ツ各自ノ所有ヲ言ハシ
ム諭ハ一人ハ九十九年間鐵路ヲ預リ十萬弗ノ手當金ニ
テ引受ント云一人ハ五十年間預リニシテ十萬金ヲ萬弗

ニテ引受ント云今一人ハ四十五年間預リニシテ手當金
二萬弗ニテ引受ント云者アルハ必ス年限ノ短クシテ
手當金ノ少キ者ニ命ス

此迄大抵請負人ト同シ唯鐵路落成ノ後預リ年限ヲ最
初ニ定ムルノミ僅ニ異レリ

其人既ニ定リシ後ハ命令ヲ以テユキリテ一ピユブリツ
ク公利益ノ布告ヲナシ然ル後ニ工事ヲ始ムヘシ

大ナル公工ニ於テハ法律議院ニ於テ決定ニ於テ公利
スルヲ法律ト云益ノ布告ヲナシ小ナル公工ハ命令國長ノ名ニテ下
スヲ命令ト云フノ

布告ヲナス

アレジユガツシヨト彼前行ハレ来リシカ現今ニ至リ此
法ヲ用ルルヲ稀ナリ

現今ハ鐵路會社ノ大ナル者アリテ直ニ之ニ命ス然レ唯

政府ト會社トノ約束ヲナスノミ舊法ヲ存セリ

此所ヨリ彼所マテ鐵道ヲ達セハ便利ナラント思フハ

或ハ鐵路會社ヨリ企事アリ或ハ政府ニ於テ思ヒ立ツ

アリ何レニモセヨ此企ヲナスニハ先ツ草案ヲ起シ鐵路

ヲ起スヘキ處ノ住民ノ存意ヲ聴キ次ニ在州ノ道路橋梁

師次ニ州會議員ノ道路橋梁掛リ次ニコミテローコンシユ

ルタチーフデセマントフェールニ評議セシメ次ニコンス

エーエデタリノ考察ヲ經テ後チ乘客ノ賃錢ヲ規定シ始

メテ命令或ハ法律ニ依テ公利益ノ布告ヲナスヘシ

凡ソ工事ヲ起スニ種々ノ手段ヲ經ル此ノ如ク甚タ煩

雜ナルカ如ト雖トモ一鐵路ヲ開ク實ニ容易ナラス今

一事ヲ舉テ之レヲ証スヘシ驗ハ圖ノ如キ場所アリ

春

夏

冬

秋

春ト秋トハ土地繁昌随テ旅客物品ノ運送モ繁多ナレハ
鐵路ノ利益洪大ナルヲ論ヲ待タス之ニ及シ夏冬ハ寒邑
貧市随テ乗客送品モ稀少ナレハ利益少シ故ニ鐵路會社
ハ春秋ノ間直線ニ鐵路ヲ通シ夏冬ヲ顧ミカルノ情アリ
故ニ能ク夏冬ノ住民ノ所有ヲ問ヒ其情實ヲ察シ夏冬ノ
人民モ春秋ノ人民ト同シク便利ヲ得セシムルハ政府ノ
責任ナリ是レ則チ多少ノ手段ヲ盡シ煩雜ニ渉ルヲ厭ハ
サル所以ナリ

佛蘭西ニ於テ鐵路會社ノ大ナル者六ツアリ自然ニ全國
ヲ六ツニ區分シ所轄スル者ノ如シ故ニ支道ヲ通スル大

抵其土地ノ會社ヨリ造ルト雖氏時アリテ其會社ノ造ル
ヲ欲セサル道アレハ政府ニ於テ之ヲ起シ或ハ他ノ小會
社ヨリ出願シテ之ヲ許スヲアリ即チ先年里昂トブール
ノ間ニ一ノ支路ヲ開クヘキ由ヲ政府ヨリ命セシニ里昂
會社ハ大會社ノ一此道ヲ開クヲ欲セス此時他ノ小會社
アリテ此道ヲ開カンヲ政府ニ乞ヒ許可ヲ受ケテ開造
セシヲアリ

鐵路ノ約束ハ公工事務執政ト會社ト相結フナリ年限ハ
九十九年ヲ定規トス此年限ハ鐵路會社起リシヨリ今ニ
至ルマテ交換スルヲナシ

九十九年ノ期滿レハ鐵路ハ政府ニ属シ汽車ハ素ヨリ會
社ノ所有物ナレハ政府ニ於テ之ヲ買ハルハシ
未タ九十九年ノ期至ラスシテ政府ニ取返スヘキ條理ニ

ツアリ

九十九年ノ期至リ政府ニ歸スル已前ニ鐵路ノ修復ヲ急
レハ政府ニ於テ其期末五年分ノ利益ヲ没入シ修理ヲ加
フ是レ其一ナリ今一ハ橋梁鐵路共ニ買上ルノ權利ヲ恒
ニ政府ニ有ス故ニ九十九年・テ政府ニ返屬スルノ約束
ナリト雖モ半途ニシテ會社衰微シ修復等ヲ得サレハ期
年内ニシテ政府ニ買上ルヲアリ諭ハ五十年ニシテ買上
ルヲアレハ残り四十九年ナリ然ルハ已ニ過シ五十年
ハ一ヶ年ツノノ利益ヲ算計シ過不及ヲ平均シ其割合ヲ
以テ四十九年ニ割平シ毎年會社ニ算還スヘシ
此條ハ鐵路創造以來佛蘭西ニ於テ亦タ行ヒシナシ
然レモ會社ト豫メ此約定ヲ結ビ置サルヲ得ス
デシヤンス 没入

没入ニ三條アリ

第一ハ約束書ニ鐵路ノ工事ヲ起ス某月ニ創營スヘシ
ト云フヲ記載シテ若シ其期限遷延スレハ則チ其工事
ヲ遏止シ且ツゴシヨンスマン 罰金ヲ没入ス
第二ハ何月限りニ此工事落成スルノ約束ヲナシ延期
スレハ工事ヲ止メ罰金ヲ没入ス
第三約束書ニ若シ鐵路損毀セシハ幾日間ニ修理ヲ
加ヘ久シク往來ノ便利ヲ妨ケサル旨ヲ記載シテ若シ
其期日ヲ過サハ直ニ工事ヲ止メ罰金ヲ没入ス
以上ノ件々ハ政府ニ於テ好テ成スヘキ事ニ非ス又
會社ニ於テモ違約スヘキニ非ス然リト雖モ約束ヲ
違ノ置キ萬一此事アレハ此處分ヲ施スノ權利ヲ恒
ニ政府ニ有セサルハカラス

鐵路會社ト公工事務執政トノ約束ノ條件甚タ多クシテ
故舉スヘカラス今二三ノ要条ヲ左ニ掲ク

第一鐵路ノ幅員ノ定メ

第二山ヲ鑿通スル幅員ノ定メ

山ヲ切通スニハ多分ノ失費アル故ニ會社ニ於テ可
成ハ幅員ヲ狭ク切抜クヲ好ム然ルモ汽車ヲ損
害シ人ヲ誤ルヲ多シ故ニ政府ニ於テ其幅員ヲ定メ
置ナリ

第三高丘ニ鐵線ヲ布ク甚タ難シ之ヲ平直ニ鑿リ通ス
ニハ失費支難シ故ニ平坦ヨリ最高ノ所マテ幾メ一ト
ムト行邁ノ度ヲ定ムヘシ

第四車驛ノ定約

會社ハ八費ヲ省クヲ欲スル故ニ多ク車驛ヲ建ル

一ヲ好マス故ニ政府ニ於テ最初ニ何方ヨリ何所マ
テノ間ニ某地々々ニ都合幾ヶ所車驛ヲ設クヘキノ
約束ヲ定ムヘシ

第五鐵路ヲ開クニ横ニ貫通セル道アリ小路ニテ往來
モ稀少ノ處ナレハ斷然其路ヲ塞キ或ハ番平ヲ置キ汽
車往來ノ間隙ニ人ヲ行通セシムヘシ然レモ往來繁キ
道路ナレハ地形ニヨリ地下ヲ鑿通シ石或ハ磚瓦ヲ疊
ミ又ハ橋梁ヲ架シ其上ヲ往來セシムヘシ

第六鐵路兩側ノ土堤ニ生樹藩或ハ柵ヲ結フハ人或ハ牛馬
其他動物等土塊ヲ踏落シ軌線ヲ埋メ車輪軌線ヲ外ニ大破
損スルヲアリ故ニ會社ニ於テ之ヲ作スノ約束アルヘシ

此ノ如ク約束アリテモ尚ホ生樹藩枯朽シ或ハ柵木
破損シ其間ヨリ牧獸駢出テ車輪ノ為ニ壓死スルヲ

往々アリ然ル氏ハ牧畜主價金ヲ募リ會社肯諾セサ
レハ裁判所ニ訴ルノ權アリ水堅ニ於テハ此約束十
キニヨリ屢々此煩ヒアリト云

如此ク約束セシ件々ヲ會社ヨク遵守スルヤ否ヲ恒ニ監
督スルハ即チ公工事務省ヨリ諸方ニ配置スル所ノ造築
師及ヒ導吏ノ任ナリ若シ違約アル氏ハ忽チ之ヲ責問シ
或ハ本省ニ報告ス

鐵路已ニ落成ノ旨届ケ出レハ道路橋梁師ノコミツシヨ
ト特選員ヲシテ能ク實檢セシメ始メノ約束ヲ遵守セシ
ヤ否ヲ熟視シコミツシヨト相違ナキ由ヲ報告スルヲ待
テ執政會社ヲ召ヒ何月何日開業スヘキ旨ヲ達シ始テ車
ヲ運轉スルヲ得セシム

鐵路ノ開造及ヒ修繕ハ前ニ說シ如ク道路ノ規則ト大畧

同般ナリ又鐵路ノミニ關スル規則數ヶ条アリ今其要件
ノ二三ヲ舉シ

鐵路新營シテ兩側ニ建築ヲ起ス常ノ道路ニ異ルヲナシ
ト雖凡道端ヨリ二ノートルノ距離ヲ置テ營造セシム二
ノートルノ内ニ造ルヲハ州知事ニテ禁制ス

鐵路ヨリ一ノートルノ外ニ牆壁ヲ築クヘシ鐵路外二十
メートルヨリ内ニ穂積ヲ置クヲ嚴禁ス汽車ノ火點飛
シ失火ニ及ヒシヲ往々アリシ故ナリ

車驛ノ長吏或ハ汽車ノ長吏或ハ邑長等恒ニ注目監督シ
一モ約束ニ背クヲアレハ忽チ摘撮書ヲ作り州知事ニ報
告ス

州知事ノ處分スヘキ事ナレハ此摘撮書ヲ州協議所ニ
出入若シ否ヲサレハプロキエロール點審司ニ出シ裁

判所ニ送ル

鐵路取締ノ官吏各令權アリテ之ヲ確奉シ敢テ他ノ職
掌ヲ犯スヲナシ若シ權外ノ事ヲ行ハハ功アルモ却テ
罰ヲ受ク先年フアンテンブロー地名ヨリ已理斯ニ違
スル鐵道中ニテ男女同室ニ乘込シ者アリ其体甚タ怪
シカドムラニ鐵路先導吏之ヲ不審ニ思ヒ少馬アツ
テ車廂ヲ開ケハ果シテ醜体ヲ見ル故ニ之ヲ裁判所ニ
訴ヘ出タルハ其兩人忽テ彼罪ニ處セラレタリ然ルニ
カートムラニハ汽車ノ方向ヲ按シ車ヲ進止スルノ權
アリテ此ノ如キ事件ハ鐵道掛リノ通平ノ職掌ナル故
ニ他權ヲ犯スノ罪ヲ以テ免職セリ
既ニ說シ如ク鐵路落成シ檢覽終レハ則テ造築師ノ特選
員ヲ廢シ新ニ一名ノ造築師ヲ撰舉シ鐵路掛リヲ命ス

緊要ノ場所毎ニ鐵路ノミヲ監督セル造築師ヲ設置セリ
緊要ナル車駅ニハ必スコンミツスエードシユルバヤニ
シ監吏ヲ置ク

此監吏ハ格別材器アル人物ヲ撰ミ任スルニ非ス監察
セシ件々皆造築師ニ報告スルヲ掌ル造築師ハ鐵路
ノ能ク約束ニ適スルヤ否ヲ監督スルヲ主務トス
造築師ハ何事モ決定スルノ權ナシ必ス州知事ノ決ヲ
仰クヘシ

連車ヲ先導スル火車ノ力ハ造築師能ク取調ヘシ是レ一
緊要件ナリ
先導火車ハ蒸氣ヲ貯ヘ途中所々ニ用意セリ萬一火車毀
損スルヲアレハ前驛ニ電信ヲ通シ用意スル所ノ火車ヲ
換用スヘシ

鐵路一般ニ関スル大事件ハ造築師ヨリ監督官ニ報シ監督官之ヲ監督官長ニ報シ而シテ執政之ヲ決ス其他ノ小事件ハ大抵州知事之ヲ決定ス

汽車中或ハ不慮ノ難ヲ生スルコトアリ故ニ倭ニヨリ医師柳少ノ車驛ニハ數種ノ藥品ヲ貯ヘ置クヘシ此事ハ監督官ヨリ執政ニ告テ會社ニ命シ供ヘ置シム

其外テスル報的標ヲ鐵道處々ニ建ルコトヲ取調ヘ執政ノ決ヲ取リテ會社ニ命シ之ヲ建シム

報的標ノ側面ヲ見スルハ汽車通行シテ妨ケナシテス
クノ正面ヲ見スルハ汽車ヲ止ムヘキ暗号ナリ

此ノ如キ事件ハ凡テ監督官ヨリ告テ執政之ヲ所決ス
汽車進止ノ時刻ニ定メ則アリ最モ夏冬ニヨリテ換ルヘシ
汽車ノ廻轉汽車ニヨリ遲速ノ適度アリテ過不及スヘカ

ラス是等ノ定メモ監督官ヨリ執政ニ告ケテ之ヲ決定ス
汽車ノ相衝突スルノ難ヲ慮リ一ノ避路ヲ設ケ分線ノ處ニ守平ヲ置キテ僅ニ鐵ヲ捻レハ忽チ他線ニ轉旋スル様ニ裝置セリ守平萬一惰眠シテ捻鐵ヲ危ルハ大難ヲ生ス故ニ守平交替ノ時刻ヲ定ムル宛メテ緊要ナリ是等モ皆監督官執政ノ決ヲトリ議定ス

汽車發着軌ノ時刻定リシ上ハ其時刻ヲ違ヘスシテ來ル者ハ悉ク來ラシムヘシ若シ票子盡レハ其餘ハ次刻ノ車ニ乘シムヘシ

各車駅ニ乗車上中下ノ賃錢表ヲ粘壁スヘシ

鐵路不慮ノ災難アルハ鐵路會社ノシレクトール長吏責ニ任シ裁判所ニ出スヘシ罪ノ輕重ニ依リ或ハ罰金或ハ牢ヲ命セラレ、コトアリ例ヲ舉テ之ヲ証セン先年

里昂ヨリ巴理斯ニ行ク汽車客ヲ乗スヘキ處ニ火藥ヲ積
ミ誤テ失火シ大ニ人ヲ損害セシメアリ此ノ如キハ余ク
コレクトールノ過失ニ属ス又タコレクトールノ過失ニ
非スシテ不慮ノ災難ニ罹ルヲアリ即チ按鍼吏或ハ他ノ
車吏ノ怠慢ヨリ起ル者ハ其罪ヲ長吏ニ歸スヘカラス故
ニ裁判所其人ヲ糾シ罰金ハ牢其罪ニ應シ處分シ且ツ相
應ノドマージュアントレ^{償金}ヲ命ス

鐵路會社ニ関シタル裁判所ノ法ハ極メテ嚴酷ナリ論
ハ鐵道中災難ニ罹リ死スル者アレハ會社ヨリ其償金
若干ヲ出サシム故ニ貧窮人不幸ニシテ年ヲ失ヒ其妻
子却テ之ガ為ニ安樂ニ渡世スルヲアリ此ノ如ク法ヲ
嚴酷ニ設ケタルハ鐵路掛リノ官吏ヲシテ怠慢ナラシ
メカル良法ト云ヘシ若シ然ラサレハ一十年數萬ノ客

ヲ運送スル故ニ鐵路ノ官負ハ必ス人ノ生命ヲ輕ニス
ル者アルニ至ラン

英國ニ於テ至貧至困ノ者活計ヲ失ヒ妻子扶助ノ為ニ
鐵道ニ罹リ死傷スルモノ往々之アリト云

汽車發軔ノ定期ヲ謬リシハ旅客裁判所ニ出訴シテ償
金ヲ募ルノ權アリ論ハ巴理斯ヨリ夕ハ時ニ發シ翌朝ハ
時ニ里昂ニ達スルノ定期ニシテ若シ一人時列ヲ限リタ
ル要用アリテ乘込シハ若シ延刻ニ及ヒ之レカ為ニ大損
失等アリシハ其事情ヲ訴ヘ償金ヲ出サシムルヲ得ヘ
シ但シ大雪或ハ汽車鐵線等損毀スル如キ不意ノ變アル
ハ是ノ限ニアラス

荷物運送

約束書ニ荷物ヲ運送スルニ其約束何日間ニテ何方ニ到

ルヘシト約シ其日ヲ超ユルハ荷主ヨリ會社ニ償金ヲ募ルノ權アリ

諭ハ麥ヲ買テ日限ヲ定メノ汽車ニ積入レ其汽車其日限ヲ誤リ入用ノ機會ヲ失ヒ魚用ニ属セシハ之力為ニ損失シタル償金ヲ募ルヘシ或ハ又夕請取ラサルモ妙ケス其麥ヲ買ヒ請

此約束ニハ種々条件多シ譬ハ荷物ヲ送ルニ先方何某ニ送ルトアリテ其者受取ニ来ラサルハ車驛ノ貨庫ニ四十八時間ハ留メ置ヘシ若シ右時間ヲ過キ取ニ来ラサルハ一日ニ付幾許ノ庫税ヲ收メシムヘシ

英國ニ於テハ直ニ庫税ヲ收ム佛ニ於テハ四十八時間ハ庫税ヲ徴セス

諭ハ約束書ニ一キロメートルニ付十サンチムヲ取ト

アレハ十サンチムヲ超ルヲ許サス然レモ十サンチムヨリ減スルハ妨ケス但シ随意ニスルヲ許サス必ス軌政ノ決ヲ取ルヘシ

鐵路會社ニ於テポスト郵便ノ書翰及ヒ同局ノ官吏或ハ電信局ノ官吏ハ無償錢ニシテ乗車ヲ許ス之レ一ノ約束ナリ

非常ノ時ニ當リ兵卒ヲ運送スルニハ會社所有ノ器械車ニ属ハル凡ソヲ盡シテ運送ス若シ甲ノ會社ノ器械ニテ不足スルハ他ノ會社ヨリ借用シテ辦達スヘシ此ノ時ハ汽車運賃ノ半ヲ投シテ可ナリ

兵卒或ハ海陸軍士官亦休暇ヲ得テ舊里ニ歸省スルハ免票ヲ渡ス此免票ヲ携ル者ハ運賃四分一ノ償錢ニテ乗車ヲ許ス

囚人ヲ運送スルニハ別ニ囚人ヲ載スル一車アリテ無賃
錢ニテ牽行スヘシ若シ囚車不足シテ止ラ得スシテ會社
ノ車ニ乘ラシムルハ半賃錢ヲ拂フ例トス
貧窮人アリテ雇ヒ稼キノ為ニ他所ヘ赴キ或ハ同様ノ者
賜ニ罹リテ飯邑スル如キハ其所ノ邑長ヨリ云々ノ者ナ
ルニヨリ無賃或ハ半賃ニテ乗車ヲ許スヘキ由ノ書翰ヲ
携ヘ來レハ大抵承諾ス是レハ規則ニ非スト云々死シト
約束ニ等シキ一ノ風習トナレリ

セマンドガランコミীগツシヨシ數邑道ヲ貫通
セマンドウヲシノ一邑道ヲ一邑ヲ

セマンドガランコミীগツシヨシハ州會議ノ決議ヲ經
テ造ルナリセマンドウヲシノハ州會議ニ涉ラス州知事ノ
決ヲ以テ造ルナリ此西道創造修理共ニ邑費ヲ以テス

セマンドガランコミীগツシヨシハ州會議ニ於テ商議
シ其邑ノ大小ニ應シ彼所ヨリ此所マテノ道ハ何邑ヨリ
開キ何方ヨリ何方マテノ路ハ某邑ヨリ修繕スヘキ由ヲ指
揮ス然レセマンドガランコミীগツシヨシハ大抵州
ヨリ若干金ヲ出シ助力スルヲ多シ之レハ法則ニ非スト
虽レ從來一ノ慣習トナレリ然ルニセマンドウヲシノハ
州ヨリ助力スルヲ鮮シ是レ少シクセマンドガランコミ
ীগツシヨシト異ナル所以ナリ

セマンドウヲシノハ州ヨリ助力スルヲ少シ何ヲ以テ其
費用ヲ辨スルヤ乃チザンチムアジシヨ子ールヲクト
ロフ墓地代生死婚証書等ノ貯金アリテ費用ヲ補助ス然
レ氏小邑ニシテ尚ホ費用不足スルハアレスターツシ
ヨシヲ命ス

プレスターツシヨニハ新道ヲ開キ或ハ修理ヲ加ルニ
全邑中婦人老幼ヲ除クノ外悉ク出役シテ二日或ハ三
日ノ工事ヲ助クルヲ云

教師シマエー氏講説

工 事

下

鑛山

鑛山ニ三種アリ曰ク「ミ」又曰ク「シ」ニ「ユール」曰ク「カリ
エール」此三種ヲ統稱シテ「ミ」ト云

ミ

金 銀 白金 鉛 銅 水銀 鑛 ビチューン 石炭

鹽

嵩中ニ包含シテ蔓ヲナスモノ或ハ地中ノ磐理ニ含蓄
スル者此等ノ鑛ハ「ミ」ト云ニ屬ス

ミニエール

地ノ表面ヨリ數寸間ニ含蓄セル鐵或ハ木根木葉等ノ石
ニ化シテ燃質ヲ帶ヒタル者炭ニ代用

カリエール

石板 建築石材 大理石 ガラートル カララン

凡ソ地底ノ幣中ニ包含セル金屬ヲミースト云フ然
レ氏缺ハ二種ニ分ツ地底ニアルハミースニ屬シ地
表面數寸間ニ在ルハミースニ屬ス

鑛主トナル規則ミースニエールルカリエールニヨリテ差
別アリミースノ規則ヲ左ニ記ス

ミース

採鑛ハ實ニ一大事業ニシテ容易ナラス凡ソ地主タル者
ハ地ノ表面ヲ有スレ氏地底ハ必自己ノ所有ニ非ス喻ハ
炭ニ九人所有地ノ相隣ルアリ其地底銅鐵アリテ九人ノ
地ニ係ルトイハ氏元來地底ハ政府ノ有タルヲ以テ私ス
ルヲ得ス若シ政府ニ於テ採鑛ヲ許スヲアレハ必九人
ノ中一人ニ命スト云フ
數人ニ許サル所以ハ一致シ難キヲ以テナリ一致協

力セサルハ此大事業ヲ成就スルヲ難シ

爰ニ一ノ地主アリテ地底ニ金屬アルヲ察知シ之ヲ鑿試
スルニ鄰ノ地下ニ及ビ鄰ノ地主ニ乞テ肯諾セサルハ
鑿出スルヲ得ス看々珍寶ヲシテ地中ノ穴物ヲラシム此
ノ如キ障礙ヲ生スルヲ以テ地底ヲ地主ノ所有トセサル
ナリ佛蘭西ニ於テ鑛山ノ開クル今日ノ盛大ニ至ル所以
ハ此ノ如キ障礙ナキニヨルナリ故ニ千八百十年ノ法律
ニ地底ハ皆テ政府ニ屬スルヲ布告シテ佛蘭西人民ハ
勿論外國人ト雖モ為人正直ニシテ成功ヲ遂ヘキ資本ア
ル者出願スレハ則之ヲ免許ス此免許ハコンスエーエデ
タノ評議ヲ經テ國長之ヲ決定ス
採鑛ヲ出願スル者アレハ豫メ其土地ヲ試鑿シ審ニ探討
セシ者ニ非サレハ免許セス

鑛地ヲ試鑿スルニハ縦横穿鑿探討ノ術ヲ尽スヘシ試鑿
シテスニノ條件アリ一ハ各地主ト熟談シ相應ノ償金
ヲ出シテ鑿ルアリ於テハ政府ハ一ハ地主ニ談シテ肯諾セ
サルハ政府ニ出願シ許可ヲ受テ鑿ルアリ此時ハ政府
鑛山師アンゼニエールグミースヲ遣シ更ニ探討セシメ
其確兆ヲ見込メ然レ後チ之ヲ允許ス敢テ輕忽ニセス地
主ノ欲セサル者ヲ此ノ如ク斷然政府ヨリ允許スルハ地
主ノ權利ヲ妨クルニ似タリト雖モ決シテ然ラス萬民ノ
通宝トナルヘキ鑛物ヲ一人ノ故ヲ以テ空シク土中ノ冗
物タラシムルノ理ナケレハナリ
採鑛ヲ出願スルニハ願主願書ヲ認メ之ヲ州知事ニ呈ス
其願書ニハ先ツ鑛地ニ關係スル所ノ各地主ノ姓名ヲ掲
ケ其中ニ肯諾セサル者アレハ其由ヲ記ス然ルハ州知

事其肯諾セサル者ヲ召シテ其事情ヲ問ヒ若シ鑛物ナキ
ヲ確知シテ肯諾セサル由ヲ答フル者アレハ則鑛山師ニ
命シテ之ヲ実檢セシメ果シテ鑛物ナケレハ則止ム若シ
其確兆ヲ得レハ則其趣ヲ記シテ執政ニ上告ス執政即鑛
山會議ヲ起シ精評ヲ盡シゴンスエーエデターノ鑛山課
ニ送り熟評ヲ受ケ然レ後チ執政國長ニ乞ヒ命令トナシ
假令コレスエーエデター異論アルモ取舍ハ執政ノ權
ニアリ

地底鑛物アルヲ審察シテ既ニ採鑛ノ免許ヲ得レハ地主
何程厭忌ストモ斷然鑿坑スヘシ然レ此又ニ又一ノ規則
アリ千八百十年ニ布告セル鑛山ノ法律ニ云リ地主ノ地
畧アル境内ハ其地下何等ノ鑛物アリト雖モ地主許諾セ
サレハ政府ニ於テ鑿坑スヘカラスト何故ナレハ地畧内

ニ踏入り掘リニ鑿リ荒サレハ地主ノ大ニ困却スル所
ナリ又墻壁外統圓百メートルノ内ハ地主ノ許諾ヲ受サ
レハ鑿ルヲ許サス

僻外統圓百メートルノ内ニ他ノ地主ノ地所交錯セ
ルアレハ其地主ノ許諾ヲ受レハ鑿坑シテ可ナルヤ
法律ニ於テ未タ確立セス裁判所ニ於テモ未タ定
論ナシ上等裁判所ニ於テ此ノ如キ條件アレハ假令
他ノ地主承諾スルモ僻外百メートルノ間ハ鑿坑ス
ルヲ許スヘカラストノ議論アリ政府ニ於テハ僻外
交錯ノ地ハ其地主許諾スレハ鑿坑ヲ禁スルノ理ナ
シ若シ之ヲ禁スルヤハ左方ノ地主ノ權利ヲ全フス
ト雖モ右方ノ地主ノ權利ヲ奪フニ當ルヘシト是ニ
一理アリ他日何レカ公論ニ歸スヘキ

政府ノ免許ヲ得ラレニ鑿坑ヲ掘ムレハ他人未リテ其境
内ヲ探討スルヲ許サス假令願主ノ志ス鑛物ハ石炭ニシ
テ他ヨリ探討セントスル者ハ鉛錫ナリ其境内ナレハ
許サス

試鑿中ハ他人同シク試鑿セシテ其地主ニ乞ヒ許
諾ヲ受レハ鑿ルヲ得ヘシ萬一此事ニ於テ爭論起
レハ其曲直是非ハ裁判所ニ於テ判決ス

採鑛ノ免許ヲ乞フニハ鑛地圖面并ニアウエルナスマシテ
願書ニ添テ州知事ニ出スヘシ

願書ノ書法

一願主ノ生産ノ州邑職業姓名

一開鑛地所ノ州邑名

一鑛地ニ関係スル地主ノ姓名

一 鑛物ノ性質

一 鑛地境界并ニ地圖ニ記スル所ノアベセノ印ニヨリ方位里數

一 エクタールニ付地主ニ拂フ所ノ金額

一 全鑛地ノ幅員

一 関係スル各地主ノ地所ノ幅員

一 エクタールニ付政府ニ收入スル金額

地圖

一 東西南北

一 河流 山脉 道路 村落

一 邑ノ分界

一 鑛地界系

一 地形ニヨリ隅角ノ所ニアベセラ記ス

喻ハ「アヨリ」ベマテ東方ニ向ヒ何十メートル「ベヨリ」セマテ南北ニ向ヒ何百メートルト願書ニ記シ方位里數ヲ知リ易カラシム

一 アヴルナスマン

アヴルナスマンハ毎歲徵稅司ヨリ各戸ニ渡ス所ノ小冊ニシテ各戸一歲中拂フヘキ所ノ諸稅額ヲ記載セリ既ニ稅ヲ納ムレハ徵稅司ノ受取証印ヲ得ラ之ヲ各家ニ藏ス今願書ニ添テ出ス所以ノモノハ願主ノ財産ヲ徵証スル為メナリ

州知事願書及ヒ地圖ヲ在州ノ鑛山師ニ出ス鑛山師異議ナケレハ之ヲ粘壁シテ公告ス然ル後此粘壁書ヲ執政ニ呈致ス

凡ソ四ヶ月ノ間州ノ首府郡ノ首府鑛地ニ係ル各邑

願主ノ生色ガニ粘壁シテ之ヲ衆人ニ示シ可否ノ議
ヲ於レ僻邑遐陬ニ至テハ文旨讀得サラシク恐レ
休日毎ニ報警ノ鼓ヲ鳴シ邑長ノ役所ニ集會セシメ
テ粘壁書ノ趣意ヲ知ラシメ可否ヲ言ハシム粘壁書
ノ上ホ及ヒ粘壁ノ失費ハ願主ヨリ出サシム

粘壁シテ之ヲ公告スルニ三ノ目的アリ

第一

願主採鑛ヲ出願セサル以前ニ鑛物ヲ発見セシ者アラハ
訴出セシメン為メナリ

第二

鑛地ニ付其邑中人民ノ障得トナルヘキモノ有無ヲ問ク
為メナリ

第三

互ニ鑛主トナランヲ競争企望スル者ノ為メナリ
以上三ヶ条ニ於テ訴出ル者アレハ州知事即其願主ヲ召
出シ条件ヲ推問シ或ハ其訴出シモノト對議セシメ其理
非ヲ判決ス

粘壁期限四ヶ月ノ終リニ至レハ則邑長ヨリ種々ノ手段
ヲ盡シ普ク告知スルト雖モ異議ノ者ナキ由テ州知事ニ
報告ス州知事即其条ヲ新聞紙ニ出シ畢テ後鑛山師ニ
告ク鑛山師其手段ヲ盡セシヤ否ヲ審察シ果シテ邑長ノ
言ノ如クナレハ則鑛地ノ略圖ヲ草シ土地ノ性質鑛坑ノ
方汰異論者ノ首意及ヒ自己ノ所見ヲ記シテ鑛山師長ニ
出ス鑛山師長モ亦自己ノ存意ヲ書シテ州知事ニ出ス州
知事之ヲ閱シ自己ノ所存書ヲ添テ執政ニ呈ス執政省中
ノ鑛山寮ニ廻シ其ハシエシ付人々ノ所存書ヲ取集メ

テタル者ノ異同ヲ檢閲セシメ之ヲ鑛山會議ニ出ス議負ノ
中鑛地所轄所轄督スル官佛國ハ已ニ十部ニ分チノ人任當シテ章
案ヲ編レ會議ヲ發ス眾評已ニ定マレハ則執政ニ覆致ス
執政自己ノ存意ヲ著シ他ノ存意書ニ副テコンスエーエ
ゲタルノ鑛山課ニ示シ異議ナケレハ則國長ニ呈シ命令
ヲ乞フ

是ノ如ク數多ノ手ヲ經テ熟議精評ニ涉ル故ニ大抵コ
ンスエーエゲタルニ於テモ異論アルヲナシ萬一異論
アリト雖モ執政ハ之ニ關係ナク國長ニ出シテ命令ヲ
乞フヲ得ヘシ然レ氏始メヨリコンスエーエゲタル
ニ出サスシテ直ニ國長ニ呈スルハ亦規則ノ許サ、ル
所ナリ

國長決定シテ命令ヲ下セハ則執政之ヲ受テ州知事ニ傳

ハ州知事之ヲ願主ニ達シ而シテ又其趣ヲ始ノ如ク州郡
ノ首府鑛地ニ所屬ノ各邑願主ノ在邑ニ粘壁公布ス

命令書中ニ願主ノ姓名鑛地ノ界限幅員關係ノ邑名
地主ニ收ムル所ノ金額_{一エクタールニ付五サン}ヲ

記載スルヲ例トス

或州ニ於テハ鑛物ノ出額二十分ノ一ヲ地主ニ收ム

ルノ約束ヲナス然ル氏ハ其趣ヲ願書ニ記ス故ニ命

令書ニモ其旨ヲ掲クヘシ法律上ヨリ之ヲ論スレハ

地底ハ地主ニ屬スル者ニ非サレハ鑛物ニ付キ地主

ニ税金ヲ收ムルノ理ナシ然レ氏曰米一ハ慣習トナ

リテ此約束ヲナス者往々アリ

シヤエー氏曰ク一エクタールニ付五サンキム

ヲ地主ニ收ムルハ太タ些少ナルカ如シト雖モ然ラ

ス如何トナレハ地底ハ鑿坑ヲナスト雖モ地ノ表面ニ開セサレハ全ク耕耘ヲ害スルヲナシ素ヨリ地底ハ地主ノ所有ニ非サル理上ヨリ推論スレハ全ク拂ハサルモ可ナリ然ルニ尚ホ五サレキムヲ收メシムルハ地主ニ於テ意外ノ餘益ヲ得ルニ當レリ凡ソ鑛山ヲ起ス者或ハ望外ノ醵益ヲ得或ハ意表ノ損失トナルヲアリ豫メ之ヲ卜知スル能ハス故ニ採鑛ヲ志ス者甚タ少シ最モ此損益ニ拘ハラズ土地及ヒ鑛物ノ出額ニヨリテ政府ニ斂ムル常額アリ所関ノ地主ニ拂フ所ノ金額ヲ多クセハ採鑛ヲ願フモノ絶止スルニ至ラン

鑛山ヲ開クニ三条ノ約束アリ

第一

願主ヨリ以前ニ鑛物ヲ発見セシ者ニ對シテノ約束

第二

表面ノ地主ニ對シテノ約束

第三

政府ニ對スル約束

第一ノ約束ハ願主ヨリ以前ニ鑛物ヲ発見セシ者アリトモ資本之シクシテ開鑛ノ宿志ヲ果ス能ハス或ハ開鑛ヲ出願シ政府ノ許可ナキカ為メニ素心ヲ違スルヲ得サル等ノ者アレハ願主ヨリ其者ニ拂ヒ与フヘキ金額ヲ命令書中ニ揭示ス蓋シ心先ノ傍探討ノ失費

第二ノ約束ハ表面ノ地主ニ對シ法律上ニ定メシ如ク一エクタールニ付キ若干ノ金額ヲ拂フヘシ其他一ノ規則アリ喻ハ便利ニヨリ井ヲ鑿リ或ハ鑛物ヲ運送スル為メ

ニ穴ヲ穿テ道ヲ造ル如キ都テ表面ノ地面ヲ用ユルヲアレハ地主ニ相當ノ償金ヲ出スヘシ地ノ表面ニ井ヲ鑿リ路ヲ造リテ之ヲ用ユルヲ一年ノ久キニ及ハ、其地一年ノ所得百ヲランクヲ收ムル處ナレハ一倍シテ二百ヲランクヲ拂フヘシ若シ一年以上之ヲ用ユレハ則定償ヨリ一倍ヲ増シテ其地ヲ買ハサレヲ得ス
第三政府ニ對スル約束ニツアリ
一ハ地面一エクタールニ付キ十サンテールヲ拂フノ約束ナリ一ハ礦物ノ出額百分ニ付五分ノ稅ヲ收ムルノ約束ナリ

現今佛蘭西ノ政府ニ於テ鑛山規則ヲ一變スヘキノ議論アリ從米鑛山ヲ開クノ目的ハ天下万民ノ幸福トナルヘキ至宝ヲ出シ得ルヲ以テ主務トスルカ故

ニ政府ニ於テ射利ヲ論セス且ツ採鑛ヲ企望スル輩モ稀ナシタルカ為メ僅ニ百ニ五分ノ利ヲ收ムルニ現今ノ如ク鑛山盛ニ開ケ鑛主利ヲ得ル莫大ナルニ至ラハ從前ノ規則ヲ變革シ收額ヲ増加スヘシ依テ道路ノ公工ヲ請負人ニ命スル如ク採鑛ノ志望アル者ヲ募リ投票ヲ命シ收額ノ最も多キ者ニ鑛主ヲ命セハ許多ノ國益ヲ増ス可シト然レバ此論未ダ一

鑛山ヲ免許スルニ注意スヘキ大要件アリ嗚ハ國中ニ三ヶ處ノ石炭坑アリテ其三坑ノ鑛主ヲ一名ニ免許スルハ忽チ石炭ノ權ヲ一手ニ掌握シ或ハ擅ニ價直ヲ上下シ或ハ其邑中ニ賣ラスシテ他所ニ輸出スル等多少ノ惡弊ヲ生シ大ニ人民ノ障礙困難トナルヲアリ此等ハ政府ニ

於テ速處ナカル可カラス
開鑛ノ免許ヲ受シヨリ六ヶ月ヲ過サル中ニ云々ノ方法
ヲ以テ鑿坑スヘキノ料案ヲ作り州知事ニ報告ス州知事
鑛山師ヲシテ其可否ヲ審議セシメ鑛山師之ヲ不可トス
ルアレハ其鑿坑ヲ改メシム可シ鑛主若シ之ニ従ハサル
ハ鑿坑ヲ廢止スルモ妨ケス是レ他ナシ人民ノ安全ヲ
保護スル為メナリ

鑿坑ニ各種ノ法アリ地形ニヨリ其方法ヲ施サ、レ
ハ或ハ鑿夫ヲ傷害シ或ハ地ノ表面ヲ破壊スルヲ往
往アリ

鑛山ヲ開クニ許多ノ器械鑿具ヲ用ユル故ニ其製造良好
堅固ナラサレハ大ニ人ヲ損害スルヲアリ或ハ坑中空氣
不通石炭ノ瓦斯氣呼吸ヲ阻害シ即或ニ及フヲアリ故ニ

空氣ノ通冗ヲ適宜ニ設クヘシ是等ノ事ハ恒ニ公工事務
省ヨリ注意シ廻文ヲ以テ州知事ヲ戒ム可シ

鑿夫若シ不慮ノ難ニ逢ヒ過傷スルヲアレハ鑛主直ニ

鑛山師ヲ招キテ其狀ヲ告ケ鑛山師即摘撮書ヲ作りテ

ロキエロールダタービュブリツクニ出ス帝國ニテハロキエ

ロキエ、同官之ヲ裁判所ニ達シテ審判セシム州知事モ

公工事務執政ニ報知ス

毎年公工事務省ヨリ鑛山師派出シ各所管部下ノ鑛山ヲ

歴覽シ鑿師ノ設ケ具備セル數介抱所ノ設ケ備ルヤ器械

鑿具ノ良否ヲ精閱シ諸規則ヲ遵守スルヤ否ヲ明許檢察

シテ摘撮書ヲ作り執政ニ報知ス

鑛主久シク作業スルハ其景況ヲ書取リテ執政ニ報告

ハ執政之ヲ鑛山會議ニ出シテ商議シ鑛主ヲ免ス而シテ

他ノ懇願スル者ニ命スヘシ此時ハ出願ノ者數名ヲ集メ
各出税ノ見込ヲ言ハシメ其中尤モ高税ノ者ニ命ス

ミニエール

ミニエールハ地表ヨリ底ニハル數寸ナラスシテ包含ス
ル所ノ礦物ヲ云フミニエールハ工面ノ地主ニ屬スル故
ニ採礦ノ規則大ニミニエールニ異ナレリ

ミニエールハ二種アリ第一ハ地表面數寸間ニ含ムル礦
物ナリ地主之ヲ発見シテ採収スルニハ免許ヲ受ルニ及
ハスト雖モ其由ヲ知事ニ届ケ置クヘシ第二ハミニエ
ールニ屬スト雖モ今少シク地底ニ入リテ淺坑ヲ穿テ採
収スル礦物ナリ此採礦ハ知事ニ請ヒ免許ヲ受ルヲ規
則トス乃二三ノ約束アリ

昔時ハ鐵質ヲ含ムル地ヲ有スル者アリト雖モ頑愚

固陋ノ農民輩多クハ耕作ノ所得ヲ重ニシ採礦ノ利
ヲ知ル者少ナシ故ニ千八百十年ノ法律ニ若シ鐵ヲ
含メル土地ヲ有スル者アリテ其地主採礦ヲ欲セサ
レハ同邑ノ鍛冶職人ニ相應ノ償金ヲ出シテ採礦ス
ルヲ免許セリ尔来人民智巧日ニ開ケ採礦ノ利益
耕作ノ所得ニ百倍スルヲ覺知セシヨリ採礦ノ術
日ニ開ケ月ニ進ミ遂ニ千八百十年ニ設ケシ鑛山ノ
法律ハ礦物トナルニ至レリ

ミニエールハ元来地主ニ屬スル者ナレハ第二ノ条ニテ
州知事ニ乞ヒ免許ヲ受ルノ事件アルト雖モ煩冗ノ手段
ニ涉ルヲナシ唯第一ノ条ニ从スレハ淺坑ヲ鑿ツテ以テ
其鑿法ヲ誤レハ鑿夫過傷註疵ノ憂アル故ニ鑛山師ヲ遣
シテ其鑿法ヲ検査セシメ人民ノ安全ヲ保護スルノミ

地主ノ所有ニヨリ邑中ノ鍛冶職ニ相應ノ金ヲ拂ハシメ
採鑛ヲ讓ルモ自由ナル可シ

カリエール

カリエールノ敷石場ハ地主ニ屬ス故ニ之ヲ採収スル者ヨリ
地主ノ自由ニ任ス然レトモ其由ヲ州知事ニ告ケ後十二
手ヲ下ス可シ

カリエールヲ開クノ規則ハ皆時各州知事ノ存意ニ任シ
テ定ム故ニ一更セス彼ノ州ノ規則ハ煩ニ過キカリエー
ルヲ起ス者少ク此ノ州ノ規則ハ寛ニ失シ却テ之カ爲メ
ニ人民ノ安全ヲ妨ケラレ兎角中當ヲ得サリシ故ニ十年
以來公工吏務省ニ於テ此規則ヲ草制シ國長ニ請ヒ命令
トナシテ各州知事ニ達セリ此規則ハ極メテ簡易ニ設ケ
唯邑中ノ障礙トナルヘキ件々ヲ制禁シ整夫ノ過傷ヲ避

ケシムルノ目的ニシテ畢竟人民ノ安全ヲ保護スルヲ主
要トス

此命令書ノ約束三十六条アリ然レモ之ヲ實地ニ施
行スルニ及ンテハ其地ト其時トノ景況ニヨリ増減
斟酌スルノ權ヲ州知事ニ與ヘタリ今一ヲ舉ゲテ之
ヲ証セン喻ハ道路ヨリ十メートルノ距離ナケレハ
石場ヲ開クヘカラスト規則書ニ見ヘタリト雖モ其
場所ニヨリ往來ノ妨害ナケレハハメートルノ所ニ
許シ或ハ地形ニヨリ障礙アレハ十五メートルノ距
離ヲ置テ免許スルアリ此等皆州知事適宜ニ取計フ
ノ權ヲ有セリ

公工事務省ノ大略

執政ハ省中最モ上等ノ長官ナリ其次ニ書記長官鐵路橋梁長官アリ此二官ハ同等ニシテ各任當スル所ノ事務上ニ於テ執政ニ代理シ調印スルノ權アリ而シテ省中ノ各寮ヲ分轄セリ

書記長官所轄ノ寮

書記寮

寮中一般ノ書記官アリ省中一般ノ書信ノ往復ヲ掌ル諸万ヨリノ來信ハ書記長官一覽シテ後テ各寮局ニ分配シ或ハ報答ス

諸方ヨリノ來翰ハ皆其部分ヲ分チ抄寫ス故ニ假令原翰紛失スルヲアルモ抄寫ハ此寮ニ存セリ

省中所用ノ筆紙墨薪炭油蠟ノ費使丁等ノ給料ニ至ルマ

テ一切ノ事務ヲ掌ル命令免許狀等緊要ノ書類ハ原書ヲ茲ニ貯ヘ置キ馬ヲ他ニ出ス

著述家鐵路橋梁等ノ書ヲ著述シ上貢ヲ乞フ者アレハ其本ヲ國ニ貢ニ有要ナレハ買上テ建築師等ニ分配スルヲ掌ル

寮中三局ヲ設ク

第一局

命令書免許狀等ヲ寫録シ省中入用ノ書籍ヲ買入ルヲ掌ル

第二局

省中ニ關係スル諸費一切ノ會計ヲ掌ル

第三局

省中ノ書信ヲ寫録ス

毎局ニ局長及ヒ次局長アリ審長ハ一寮ヲ惣括シ局長ハ一局ヲ惣括ス

シビジヨンドペルソネール官負寮

寮中ヲ二局ニ分ツ其中一局ニシテ緊要ナリ

第一局

此局ハ省中諸官負ノ進退黜陟ヲ主掌ス諸官負ノ新加スル者ハ必ス此局ノ検査ヲ受ク關負アリテ入負ヲ望ム者アレハ其名ヲ記シ検査シテ後ニ撰奉ス而ル後ニ始メテ官ニ就クモノハ先ツ写字生ヲ命シテ見習ハシム

寫字生ハ千五百フランクノ歳俸ヲ與フ二年在勤スレハ千七百フランクニ上リ二年ヲ過レハ千九百フランクニ上ル四年五年ヲ経テ二千フランクヲ受ク二年以上ニ至レハ「ダクトール」書記吏トナル若シ

本器卓越ナレハ尋テ上官ニ進昇スヘシ然ルニ尋常ナレハ寫字生ニ止マリ生涯二千フランクノ給俸ニテ畢ル可シ

「ダクトール」書記吏ハ命令書ヲ掌ル歳俸二千フランクヲ受ク其レニ二年毎ニ加増シ遂ニ三千八百フランクニ至ル若シ伎倆アレハ「スーセー」次局長ニ昇進ス次局長ハ四千フランクヨリ五千五百フランクマテノ歳俸ヲ受ク次局長ヨリ局長ニ昇レハ六千フランクヨリ八千フランクマテノ俸ヲ受ク之モ二年毎ニ昇級ス上ツテセー「ド」シビジヨリ審長ニ至レハ一万フランクヨリ一万三千フランクノ俸ヲ受ク又二年毎ニ昇級ス

審長ヨリ「ドレク トー」ニ上レハ一万五千フランクヲ受ク又轉進シテ鐵路橋梁長官或ハ書記長官ニ至レハ二萬

五千フランに之ヲ受クヘシ

執政ノ歳俸現今六萬フランにナリ

帝國ノ時ハ十萬フランに之ヲ給セリ共和國トナリテ
四萬フランに之ヲ減省ス

シヤユエー氏曰ク佛蘭西諸省官負ノ給俸甚タ薄少
ナリ巴里府ニ住居スル者ハ僅ニ二三千フランにノ
歳俸ヲ受テハ活計立テ難シ然ルニ官ニ就ク者ハ皆
多少ノ歳月ヲ費シ諸学科ヲ經タル者ナレハ如此薄
禄ニテハ官途ニ出ルヲ企望セサル情アリ故ニ冗
員ヲ減省シ給俸ヲ増スノ說追々發議アレバ回脩行
ハレス今之ヲ改革センニ筭ハ四分ノ官負アラハ具
一分ヲ減シ其一分ノ俸ヲ殘ル三分ノ官負ニ割平シ
與ヘナハ別ニ省ノ定額ヲ増加セスシテ改革總ニ諸

事務モ却テ裨達スヘシ具外佛蘭西ノ患弊ハ人物ヲ
取ラスシテ年功ヲ取ルニアリ適マ有用ノ人材アリ
ト雖モ年功ヲ以テ進ム故ニ老年ニ至ルマテノ間空
ク人ノ下ニ屈シテ其才力ヲ延スヲ能ハス有テノ輩
慨歎セサル鮮シ

以上官階ノ進退點步ヲ掌リ其草案ヲ起スハ此ベルヲネ
一ハ爲ノ職掌ナリマシ道路橋梁造築師ノ進退モ此局ニ
於テ掌トレリ

第二局

造築師ノ旅費等ヲ分配スルヲ掌ル各國新發明ノ事
アリテ臨時造築師ヲ派出スルヲアリ此旅費等此局ニ於
テ渡ス可シ官負三十年ヲ經レハ退職ヲ許ス其時畢生多
少ノ捨扶持ヲ給ス是等ノ事務モ此局ノ掌ナリ

畢生ノ捨扶持ナレバ歿後寡婦アレハ半給ヲ與フ然
レモ子ニハ及ホサス

鐵路掛リノ造築師ノ給俸ハ鐵路會社ヨリ公工事務省ニ
収メ此局ヨリ配當ス

シビジヨンドコンタビーター司計署

此案ハ省中一切ノ會計事務ヲ主掌ス

第一局

支額表ヲ作ル為メニ公工ノ失費ヲ取纏メ議院ノ投票ニ
ヨリテ議定セシ金額ヲ各署ニ分配スルヲ掌ル

ラルドンナンスパイマント云フモノヲ支額表ノ上ニ記
スル等ノ事ヲ掌ル

毎月會計事務省ヨリ渡ス所ノ金額ヲ分配スルヲ掌ル
千八百七十二年非常ノ入費五千三百九十一萬千八

百五十万フランノ平常ノ入費八十五ミリヨン八千五
百十七万九百五十三フランニ及ヘリ然ルニ之ヲ
一時ニ渡サス月々會計事務省ヨリ一个月分ツノ
入費ヲ向ヒ合セテ拂ヒ出スヲ此局ニ於テ各署諸方
ニ分配スルナリ

ラルドンナンスデパイマントハ金ヲ拂フニ付テ何方
ニ幾額ヲ拂ヒ出スヘキ旨ヲ執政ヨリ國ノルワスエ
ウエールノ收納吏ニ命令スルヲ云フ州ニ於テハ州知
事此命令ヲ下スヘシ州ニマヨールゼネラルノ
長吏アリルワスエウエールバルチキリエール縣ノ
伯陵金請取人アリルワスエウエールヌツトールカン
トニ在ル徵稅吏アリ

ベルヌツトール毎月邑中ノ稅ヲ聚メ縣ノルワスエ

ウェルバルキエールニ獲ル是等ハ皆命令ヲ下
ス人ナレハ決シテ金ヲ出スナシ此規則越メテ
嚴格ナリ

第二局

養持等ヲ與フル命令書ノ草案ヲ編シ及ビ之カ會計ヲ
掌ル

鑛山寮

鑛山寮ハ鑛物ニ関スル事務一切ヲ總掌ス寮内ニ局ニ別
ケテ事務ヲ分掌ス

第一局

鑛物ノ探討鑿鑿免許或ハ命令等ノ事務ヲ掌ル
アンゼニエールデミール鑛山師ハ一年ニ少クモ一回派
出廻覽ス廻覽スル毎ニ自己ノ所有書ヲ本省ニ送呈スル

ヲ執政此局ニ下シ田舎セシム

鑛山ノ雇夫傷害等アレハ則チ其鑛主ヨリ償金ヲ出ス規
則ナレバ時間ヲ費ス故ニ州知事ヨリ電信ヲ以テ報告ア
レハ公ニ事務省ヨリ速ニ金ヲ出シ危ヲ救フナリ是等ノ
事務ヲ掌ル

佛蘭西ニ於テ都テ蒸氣器械ノ監督ハ鑛山師之ヲ任當ス
譬ハ英國ニテ蒸氣器械製造所アリテ之ヲ佛國ニ用ユ
ルヤアレハ尤ク鑛山師ヲ遣ハシテ実檢セシメ後チ之
ヲ用ユ是等ノ事務ヲ掌ル

第二局

金屬ノ製造所ノ事務ヲ掌ル

金屬ノ製作所ハ猶ホ鑛山師監督ヲ任ス故ニ事アレ
ハ皆此局ニ於テ取扱フナリ

鑛泉ノ事ヲ掌ス

若シ鑛泉ノ人身ニ藥スヘキ場所ヲ見出サハ公益ニ
ナリテ一ビニツクノ命令ヲ布告シテ其鑛泉ヲ保
護スル為ノ其周圍ニ井ヲ鑿ルヲ禁スル等ノ規則アリ
是等ノ事ヲ掌ル

各州ニ於テ鑛山師州中ノ土地ノ性質ヲ分析シ或ハ地ノ
高低ニヨリ土性ノ異ナル等シ色別シタル由因ヲ建搆上
板スレハ公工事務省ニ買入レ諸造築師及ヒ鑛山師掛リ
ノ官吏ニ分配スル等ノ事ヲ掌ル

シヤユエー氏曰ク現今佛ニ於テ大抵此由因ヲ作ラ
サル州ナシ之ヲ見レハ全國ノ地質一目瞭然タリ
鑛主一エクタールニ付キ地主或ハ政府ニ徵収スル税ノ
約束等ノ事ヲ掌ル

國畫寮

公工ニ関係スル圖面ヲ藏ス

此寮極メテ微ニシテ官吏モ亦他寮ノ如ク具備セス
然レモ寮ノ名アリ故ニ茲ニ併セ掲ク

鐵道橋梁長官所轄ノ寮

道路橋梁寮

道路橋梁寮ニ局ニ分ツテ事務ヲ分掌ス

第一局

全國ノ大道橋梁造営修繕ノ事務ヲ掌ル

第二局

州中ノ道路橋梁造営修繕ノ事務ヲ掌ル

運漕河寮

寮中三局ヲ設テ運漕河ノ事務ヲ分轄ス

第一局

商港及ヒ燈臺堤防ノ造營修繕ヲ掌ル

第二局

運漕河通船ノ公工河杭渡船河獵規則ノ事務ヲ掌ル

第三局

船艦ヲ浮ハ難キ河派ヲ浚ハ小艇ヲ通シ或ハ池沼ノ埋地等ノ事務ヲ掌ル

鐵道第一寮

鐵道第一寮中二局アリ

第一局

鐵路ノ公工ヲ求調ルヲ掌ル

第二局

免許約束ノ事務ヲ掌ル

鐵道第二寮

鐵道第二寮中二局アリ

第一局

商品運送及ヒ運價表ヲ作ルヲ掌ル

第二局

鐵道ノ修繕或ハ先導火車ノ事ヲ掌ル

省中ノ結構大畧如此此外代言師五名付屬セリ然レモ常ニ

出仕スルヲナク事務アリテ命スルモハ日給ヲ與フ又鑿

師二名ヲ付屬ス省中ニ於テ不時疾病等ノ為メニ備フ日

給等代言師ニ同シ

シヤムエー氏曰ク佛國各省ノ体裁一ヨリ順シ遂テ

十二至ル十ヨリ順シ終ラ一ニ至ル如ク上ヨリ下ニ

達シ下ヨリ上ニ聞スル一モ上越下越スル能ハス是

レ他ナシ輕忽過失ナカラシメン為メナリ